

hiroba ひろば

Number 94
2021 December



ARC2021

作品集



建築士事務所憲章

建築士事務所は、建築や環境が文化の形成に占める重要な意味を認識し、社会の健全な進歩と発展に寄与します。

- 一 誠意をもって設計と監理の業務を遂行し、建築主の期待に応えます。
- 一 健康で快適な生活環境の創造と、安全安心、持続可能で良質な資産の形成を図ります。
- 一 自己研鑽を怠らず、職業倫理を高め、法令遵守と公益の立場に立って最善を尽します。
- 一 設計意図の理解を施工者に求め、公正に工事を監理します。
- 一 互いに信頼を深め、連帯の精神をもって職務を全うします。

平成20年5月

一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会
(平成25年4月1日一般社団法人に名称変更)

社団法人 北海道建築士事務所協会は、本憲章を誓約する建築士事務所を会員とする法定団体です。

平成21年1月

一般社団法人 北海道建築士事務所協会
(平成25年1月4日一般社団法人に名称変更)



〈一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会シンボルマーク〉

“建築”の基本構成である“塊”、“面”、“線”の3つの普遍的要素をもとに構成し、“屋根の建築”といわれる日本建築のイメージを取り込み、柔らかな曲線によって、繊細な日本美を表現しました。

目次 CONTENTS

巻頭言 色々な町づくりに思うこと	
一般社団法人北海道建築士事務所協会 副会長・空知支部長 中田 信広	2
第46回 「北の住まい」住宅設計コンペ 「ソトの家」	4
「外の声に耳を澄ます」	13
最優秀賞受賞者 北海学園大学大学院2年 三浦 光雅	
令和2年度 北海道赤レンガ建築賞・北海道赤レンガ建築奨励賞	15
令和2年度 高校生建築デザインコンクール	22
【設計会館】の建設について	31
第44回建築士事務所全国大会（熊本大会）の中止について	33
日事連建築賞	34
栄誉を称えて	35
技術レポート 建築紛争に巻き込まれない為に	
業務・技術委員長、札幌地方裁判所民事調停委員 松田 真人	37
「ほっかいどう住宅フェア」の実施について	41
各支部からのおたより	42
札幌支部 坂田 淳 小樽支部 廣谷 昭 空知支部 金田 貴彦 網走支部 山崎 聡	
2021 アクションレポート	
・建築士事務所登録等事務の業務について	46
・設計等の業務に関する報告書に係る事務について	47
・建築士定期講習	48
・管理建築士講習	50
・適合証明技術者講習及び既存住宅現況検査技術者講習	51
・震災復旧のための震災建築物の被災度区分判定基準および復旧技術指針講習会	53
・開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会	54
・建築士事務所キャンペーンについて	55
令和3年度 委員会開催状況	56
行政等への要望活動	57
日本建築学会北海道支部 第41回北海道建築作品発表会	
「北海道の建築と光」	59
北海道大学大学院工学研究院助教 内藤 誠人	
新入会員の紹介（令和2年12月～令和3年11月）	61
令和3年度 一般社団法人北海道建築士事務所協会 役員・支部長・委員会名簿	62
ARC2021 建築作品集	65
編集後記	91
広報委員会委員 徳留 裕敏	

色々な町づくりに思うこと

一般社団法人北海道建築士事務所協会

副会長・空知支部長 中田 信広



私たちは、職業柄もあって建築を通してまちづくりを考えることが多いのですが、建物以外でも色々な考え方の町づくりがあるようです。ここでは私なりに建物を含めたいろいろな町づくりについて少し整理してみたいと考えます。

①一人の建築家の影響力による町づくり

多少古い話になりますが、榎文彦氏の代官山のヒルサイドテラス A 棟から G 棟までの一連の建物や、倉敷の浦辺慎太郎氏の大原美術館や倉敷国際ホテルや倉敷アイビースクエア等の建物。さらに、小布施の宮本忠長氏の北斎館や小布施町景観計画策定を始めとする小布施の種々の建物。などが有名です。

②歴史的建造物による町づくり

京都の町屋の町並みや社寺院群、加賀の茶屋街の街並み、下郷町の大内宿や南木曾町の妻籠宿や中津川市の馬籠宿、神戸や函館、小樽などの明治時代の建物群、これらの建物を保存・保護することで町づくりにつなげる取り組みなどが有名です。

③再開発事業による町づくり

巨大な東京駅前常磐橋プロジェクトや品川開発プロジェクトを始めとして、高さが 60 m 以上のものの再開発事業だけでも全国で本年の竣工予定が 70 棟だそうです。さらに、今年も含めて今後 6 年間に 526 棟もの再開発事業があるそうで、再開発事業による町づくりがまさに隆盛を迎えています。

④街路事業による町づくり

再開発事業の中に包含されると思われませんが、街路などの道路拡幅に伴う用地買収や区画整理などの補助金と商店街近代化資金などを使って行う町づくりも盛んです。全国各地の地方都市で行われ

ているようで、色々な工夫がされていて特徴ある町づくりが展開されています。

⑤住民の景観意識向上を核とした町づくり。

温泉旅館の経営者が先頭切って景観意識の向上を訴えて実践したことによって高級温泉街として蘇った湯布院、その考え方を学んで取り入れた黒川温泉、また一公務員がコツコツ進めたお堀りの浄化を契機に市民も参加する運動に発展したことによって、見事に蘇ったお堀りの舟くだりの柳川市、さらにガーデニングコンテストを通じて市民が競って花による景観づくりに挑戦した恵庭市などが有名です。

⑥コンパクトシティーを目指す街づくり

過度なモーターゼーションの結果、高齢者に対応できない郊外型商業施設の氾濫を阻止する事や、行政コストの低減などを目指して、コンパクトシティーを目指す動きは全国で取り組まれています。これといった成功事例はまだないと思われます。その中で、市内の交通インフラの整備を進めることを通じて、コンパクトシティーを目指している富山市や高崎市などが注目を浴びています。

もっといろいろな観点からの町づくりがあると思われませんが、以上の6点を私なりに整理してみました。当然これら6点の町づくりが複層的に行われているのが現実だと思います。今後、少子高齢化や温暖化、ノンカーボン化に向けて進んでいくこれからの時代にどのような町づくりが求められていくのかが大変興味深いところです。

ひるがえって、私は栗沢町という小さな町で私なりに仲間と共に長い間町づくりに取り組んできたつもりでした。非力な私達でしたが、⑤で示した方向の町づくりを目指していました。しかし、今から20年程前にいわゆる平成の大合併に向けて岩見沢市と合併することを、時の町長が決断した時点で頓挫してしまいました。

どこで何を間違ったのか、町が合併するしかないほど疲弊してしまったことには全く気が付いていませんでした。私たちがあまりにも非力だったことに加えて、私たちの町づくりの方向がずれていたのでしょうか？ または、町づくりにかける情熱が足りなかったのでしょうか？ 失敗の原因はどこにあったのか未だに良く分かりません。合併後も多少あがいていたのですが、数年で意欲も萎えてしまい、仲間もバラバラになってしまいました。

このような状況ですが、全国の町づくりへの挑戦を横目で眺めながら栗沢のこれからの可能性を探っていきたいと、年齢的にいく末が短いにも拘らず建築に係わる者としてばかりでなく、旧町民の一人として思いめぐらしている今日この頃です。

課題 「ソトの家」

わたしたちは“ソト”にある環境や人とのかかわりの中で暮らしています。

そして北海道は、森や海そして星が近くにあり、雪も魅力です。都市に居ても風や花の香りを感じます。外や自然、場所によるアクティビティは、建築と生活スタイルを構築する要因にもなります。ソトに身を置いたデザインをしてみませんか。

計画条件

- ・北海道内の地域と敷地、住戸形式、家族構成等は自由に設定してください。

賞 金

- ・最優秀賞 25万円（1点）
- ・優秀賞 5万円（2点）
- ・奨励賞 2万円（4点）

締 切（厳守してください。）

- ・2021年9月28日（火）持参の場合は16時必着。
なお、土曜日、日曜日は、受付できません。
郵送の場合も9月28日（火）必着

参加資格

- ・一般、学生等を問いません。
- ・北海道内居住者とし（学生・生徒は北海道内の教育機関に在籍している者に限ります）。
- ・個人参加、グループ参加は自由です。

提出物

(1) 図面

作品名、設計趣旨及び設計意図を表現する図面（縮尺は自由）。図面には、氏名、記号、サインなどを記入しないでください。A1（841×594）サイズ一枚、**横づかい（縦づかいは無効です。）**。表現は自由です。ハレパネ又はスチレンボード（厚さ5mm程度）などでパネル化してください。

(2) 返信用ハガキ

受付番号をお知らせするために使用しますので63円の官製ハガキに応募者の住所、氏名を記入して提出してください。

（官製ハガキ以外は、受付できません。）

(3) 応募用紙

応募作品の「作品名」と応募者の郵便番号、住所、氏名（フリガナ）、所属先名（学生は、学校名・学年）、電話番号をA4版の用紙に記入して（形式は自由）応募作品とともに提出してください。

審査委員（委員は五十音順）

委員長 米田 浩志

北海学園大学工学部教授

委員 赤坂 真一郎

㈱アカサカシンイチロウアトリエ代表取締役

委員 小澤 丈夫

北海道大学大学院工学研究院教授

委員 小西 彦仁

ヒココニシアーキテクトゥア㈱代表取締役

委員 佐藤 孝

北海道科学大学名誉教授

委員 澤田 貞和

㈱日本工房代表取締役

委員 松田 真人

㈱都市設計研究所代表取締役

選考経過

- ①一次審査（2021年10月4日～7日）
一次審査通過者の受付番号は10月中旬に主催者ホームページ（www.do-kjk.or.jp）で発表します。
- ②二次審査（2021年10月28日10：00～）
一次審査通過作品から10作品を選出します。
- ③最終審査（2021年10月28日13：00～）
二次審査通過作品（10作品）から各賞（計7作品）を決定します。

入賞者発表

- ・2021年11月初旬
入賞者に直接通知するとともにホームページでも発表します。

入賞作品の展示等

- ①2021年11月8日(月)～11月12日(金)
大五ビル 6階ホール(札幌市中央区大通西5丁目11)
 - ②2021年11月24日(水)～11月26日(金)
大通ビッセ1階ホール(札幌市中央区大通西3丁目)
- ・一次審査通過作品は、協会広報紙「ひろば」(12月発行)に掲載します。
また、最優秀賞受賞の方には、同誌への寄稿をお願いしています。

応募作品の著作権等

- ・応募作品の著作権及び版権は、応募者のものとします。ただし、この事業の趣旨に基づいて、主催者が図書の出版や、新聞、雑誌、その他に掲載又は啓発宣伝などに利用する場合は無償で認めるものとします。
- ・応募作品は原則として返却しません（返却希望の場合は、事務局に相談してください）。

主催

(一社)北海道建築士事務所協会

第46回「北の住まい」住宅設計コンペ 入賞者名簿

最優秀賞	三浦光雅	北海学園大学大学院2年
優秀賞	塩野谷基悟	北海学園大学3年
優秀賞	田元良	北海道科学大学4年
奨励賞	渡邊憲成	北海学園大学大学院2年
奨励賞	藤井淳史	室蘭工業大学4年
奨励賞	国貞佑弥	室蘭工業大学大学院1年
奨励賞	川去健翔	室蘭工業大学大学院2年

後援(順不同)

北海道開発局
北海道
(一財)北海道建築指導センター
(一社)北海道建築士会
(公社)日本建築家協会北海道支部
(一社)日本建築学会北海道支部
(株)北洋銀行
(株)北海道新聞社
(株)北海道建設新聞社

協賛(順不同)

(一財)北海道建築指導センター
(公社)日本建築家協会北海道支部
北海道建具工事業協同組合連合会
(株)総合資格札幌支店
(株)工成舎
(株)橋本川島コーポレーション
池田煖房工業(株)
熱源設備(株)
三洋興熱(株)

最優秀賞

「盆に踰るめく笠と帯」

三浦光雅

北海学園大学大学院 2年



ソトに身を置いたデザインを求めた今回の課題に対して、作者は寄棟屋根と壁でつくられるシンプルな矩形平面をもつ家型から出発し、屋根と壁を切り分け、バランスを失った屋根が壁にもたれかかる状態を構想することで応えた。

敷地は、旭川市高砂台の傾斜地。ここを、盆地を形成する盆の縁にみたく、「不安定なお盆の上で踊る器」という詩的なイメージを提出している。

空間を仕切る壁と、その上に斜めに引っかかるように覆いかぶさる寄棟屋根によって、この家は、様々なかたちのウチとソト、あるいはそのどちらとも言えない領域を合わせもち、身近な地面、近景、遠景、さらには大きな空と多様な関係を生むことに成功している。この構成によってできた上階の寝室と家族室は、積雪寒冷地においてソトとの関係を持ちながらも守られる親密な家族の空間となり、GLレベルにある空の間、中庭、前庭は、ソトとの関係において明快に差異化されデザインされている。本作品は、シンプルなコンセプトの魅力に留まらない、具体的な空間として高く評価できる秀逸なものと言えよう。

最後に、本作品が、審査の冒頭から終了まで一貫して、全審査委員から最も高い評価を得た結果、最優秀賞に選定されたことを付け加えておく。

審査委員 小澤 丈夫

優秀賞

「せせらぎの家」

塩野谷 基 悟

北海学園大学 3年



札幌市の南、簾舞川と道路に接した長細い敷地に計画された住宅である。

自然と近隣住宅が入り交じったこの場所は自然の音や川のせせらぎがクリアに聞き取れる環境である。

この住宅は川に沿う様に長細いプランを持ち、各機能が少しずつ高さを変えながら視線に変化を与えている。だがこの提案で最も重要なのは、視線もさることながら音に着目した点にある。

大きな屋根が下部の住居スペースにかぶせられ、その下の空間に入り込む川の音や、小鳥の囀り葉の囁きなど音が今回の課題「ソトの家」を強く表現していると評価した。

この空間には静かな時間と、ストレスフリーな空気が漂うであろう。優秀作品に相応しい作品であった。

審査委員 小西 彦仁

優秀賞

「ROD HOUSE」

田 元 良

北海道科学大学 4年



炭素繊維による竿状の柱に支えられたビニルハウスのような建築が、外部環境（雨や雪、落ち葉など）に影響され、空間形状を変えながら四季と呼応する物語は詩的な魅力にあふれ、多くの審査員を惹きつけました。

手描き風の素朴なプレゼンテーションも、文章では伝えきれない作品の空気感を補完しています。

自然と人間の関り方を問うようなこの建築は、アートとしての側面も持ち合わせており、今後の「北の住まい」の可能性や発展性を示唆する作品に仕上がっています。

審査委員 赤坂 真一郎

奨励賞

「陽だまりの屋根のイエ」

渡邊憲成

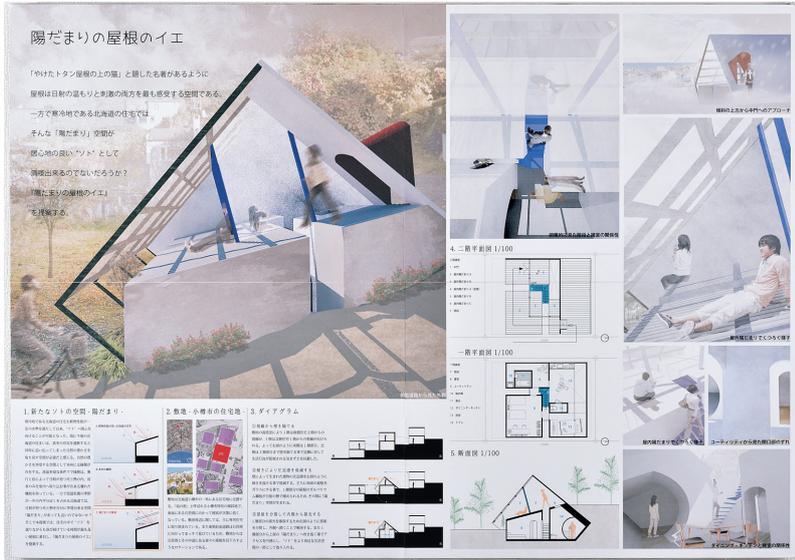
北海学園大学大学院 2年

屋根の上に陽だまりをつくり、傾斜地であって隣の家からの視線を避ける意図から屋根から入る住宅を提案している。主な居室は半分地下に収められているため、光をどう取り入れるかが注目される。

屋根の上にガラスに囲まれた空間が玄関とともにあり、「ソト」の空間そのままに、たくさんの光が入る場所になっている。玄関から階段を降りれば、周囲からは遮断された静かな住空間がある。居室に光を取り込むためのスリット・階段・吹抜が住宅の中心にあるが、断面をみると十分な明るさが確保できているか気になる。

屋根へのこだわりを少し緩めて、陽だまり空間のレベルを変えて各居室との繋がりをデザインした方が居心地がよい住まいを実現できたのではないだろうか。

審査委員 澤田 貞和



奨励賞

「斜面と離れの家」

藤井淳史

室蘭工業大学 4年

この家は家族で過ごす生活空間を室内にまとめ、個人で過ごす空間を離れに分散配置する事によって、近隣とのふれあいやソトとの関係を醸成するような仕掛けとなっています。そして、敷地は豊平川河川敷に接しており、屋上から、堤防より低い部分は河川と反対の住宅地側を、堤防より高い部分は豊平川の方が眺められるようになっています。巧みに住空間に外部を取り込む仕掛けが用意された秀作であり、鳥瞰パースは分かり易くこれを表現しています。

惜しむらくは近隣とのふれあい空間の演出や外部を眺める空間の在り方がやや単調（ステレオタイプ）であり、まだまだ多くの可能性やバリエーションがあっても良かったように思われます。きめ細かく、そして大胆にこれを追求していれば、更に高い評価を得ることが出来たのではないのでしょうか。

審査委員 松田 真人



奨励賞

「2層吹き抜けの家」

国貞佑弥

室蘭工業大学大学院1年

敷地は古くから鉄の街として栄え、歴史・風土・産業の重なりを感じる室蘭市の港が見渡せる住宅地。この街のレイヤーを取り込む住まいは2層の吹抜があり外部化している。

住宅の諸室は段差で仕切られ水平に繋がり、街に向かって開いている。繋いだ各室は横に重なる住まいのレイヤーを意識させ、その方向軸が室蘭の街のレイヤー軸をイメージさせ、二分された住宅の形態に結実するデザイン意図が見える。惜しいのは、その方向軸に捕らわれすぎたのか、2層吹き抜けのデッキ空間の多様性・形の面白さが足りないような気がする。もっと内部化した賑わいのある空間に出来たら、さらに優れた作品になっていたと思われる。

審査委員 澤田 貞和



奨励賞

「OTHER TWO VILLAS HAVE EACH OUTSIDE」

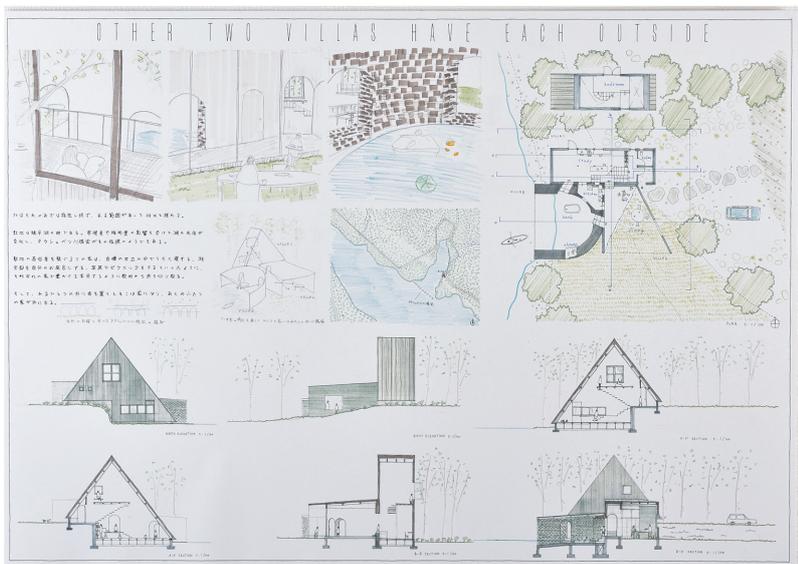
川去健翔

室蘭工業大学大学院2年

この家は、場所と人のかかわりから見出した3つの形から構成された建築である。タウシュベツ川橋梁は、冬の時期、凍結した湖面に姿を現し、夏から秋にかけて水位は上昇し橋は水没する。水位上昇の時期、この湖畔の露天風呂空間は、湖のすべてを受け入れる形状のU字形にしている。ダイニング空間は、季節や天候に応じて食事の場所を室内から半屋外、さらに外へとピクニックに誘うかのような形である。また、土地の高低差を受け入れたスキップフロア建築は、開放的な空間構成である。

この作品は、コンペの求めているソトに身を置いたデザインであり、場所によるアクティビティから素直に形を生んでいる。フリーハンドによる表現も巧みであり、優れた作品である。

審査委員 佐藤 孝



2次審査通過作品

梁 憲 杰

学校法人美専学園北海道芸術デザイン専門学校 1年



坂 田 楓

フリーランス



磯和耕太郎 (北海道大学大学院 1年)
本田 隼大 (北海道大学大学院 1年)

(共同作品)



1次審査通過作品

田口 提也

北海学園大学 4年



大橋 醇也 (北海道科学大学 3年)
大島 涼 (北海道科学大学 3年)

(共同作品)



加藤 文治 (北海道科学大学 3年)
飯田二千翔 (北海道科学大学 3年)

(共同作品)



上木 翔太 (北海道大学大学院)
寺嶋 啓介 (北海道大学大学院)
野田 暁布 (北海道大学大学院)

(共同作品)



生出 陸人 (北海道科学大学 3年)
奥野 柊也 (北海道科学大学 3年)

(共同作品)



二口 龍朋

学校法人美専学園北海道芸術デザイン専門学校 2年



相馬 功 希

札幌市立大学 4年



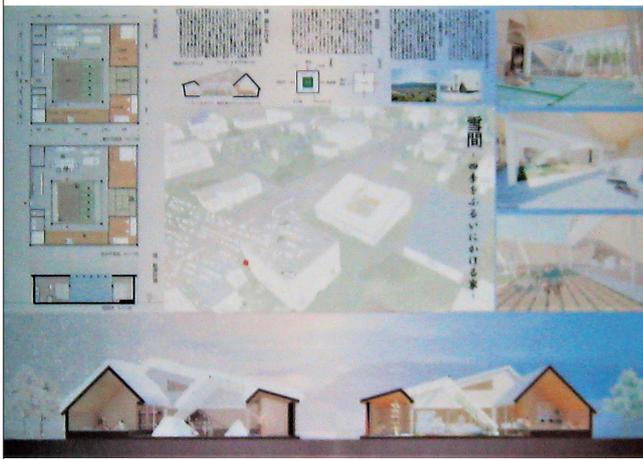
吉川 明香 (北海道科学大学 4年)
坂本 修也 (照井康穂建築事務所)
越後駿太郎 (北海道科学大学大学院 1年)

(共同作品)



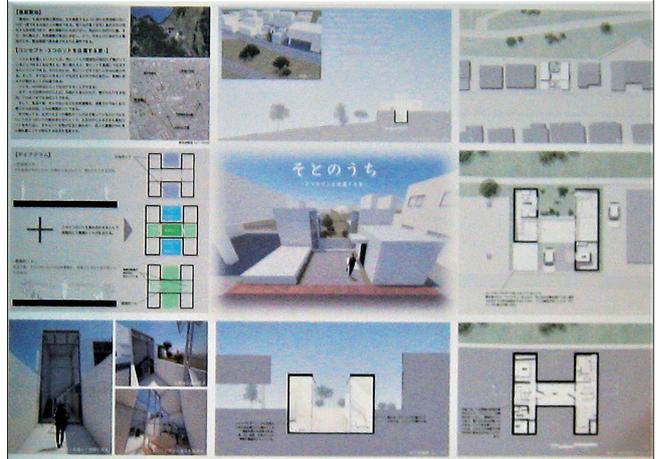
原田 耕太 (室蘭工業大学 4年)
佐野 由和 (室蘭工業大学 4年)

(共同作品)



池田 流 風

北海道科学大学大学院 1年



立花 恵大 (北海道大学大学院 1年)
齋藤 惇 (北海道大学 4年)

(共同作品)



大通ビッセ展示会

「外の声に耳を澄ます」

第46回北の住まい住宅設計コンペ最優秀賞受賞者

三浦 光雅（北海学園大学大学院2年）

第46回北の住まい住宅設計コンペにおいて最優秀賞をいただきました。受賞に際して、ここに寄稿文を書く機会をいただいたので、受賞作品について、製作過程で考えていたことを含めてお話ししたいと思います。

今年のコンペの課題は「ソトの家」でした。新型コロナウイルスの影響によって、思うように外出が出来ない日々が続き、その反動からなのか、最近是人混みを避けるように、自然豊かな場所へ足を運ぶことが増えました。そうして自然に触れる度にたくさんの発見があります。例えば、何気なく円山公園の木々を見上げると、1枚では太陽の光を透過してしまう薄くて小さな葉が無数に重なり、私たちが癒す木陰をつくっていること。支笏湖を眺めていると、向こうの山が空と湖に挟まれて青く見えること。地獄谷を下りると、目に見えることだけでなく、硫黄の臭いや温泉の熱が暴力的なまでに体に伝わってくる。北海道の自然豊かな場所へ足を運ぶと、晴れやかな気持ちになると同時に創作意欲が掻き立てられます。また、札幌の都市部を歩いても、統一されたビルのスカイラインの先に藻岩山の稜線が見え、まちのどこにいても自然を感じ取ることが出来ます。私たちが自然といつ、どこで、どのように関わるのかはさまざまで、その多様な関わり方を受け止めてくれるような住まいをつくりたいと思うようになっていきました。

敷地は旭川市高砂台の傾斜地を選びました。ここは私の親元からほど近くにあり、私が小さい頃によく訪れていた場所です。急な上り坂を自転車で駆け上がり、旭川の盆地を一望する体験はとても印象に残っています。現在は親元が移って、ここに帰省する機会もなくなってしまいましたが、これを機にこの場所で過ごした記憶を「ソトの家」をつくり、留めておきたかったのです。

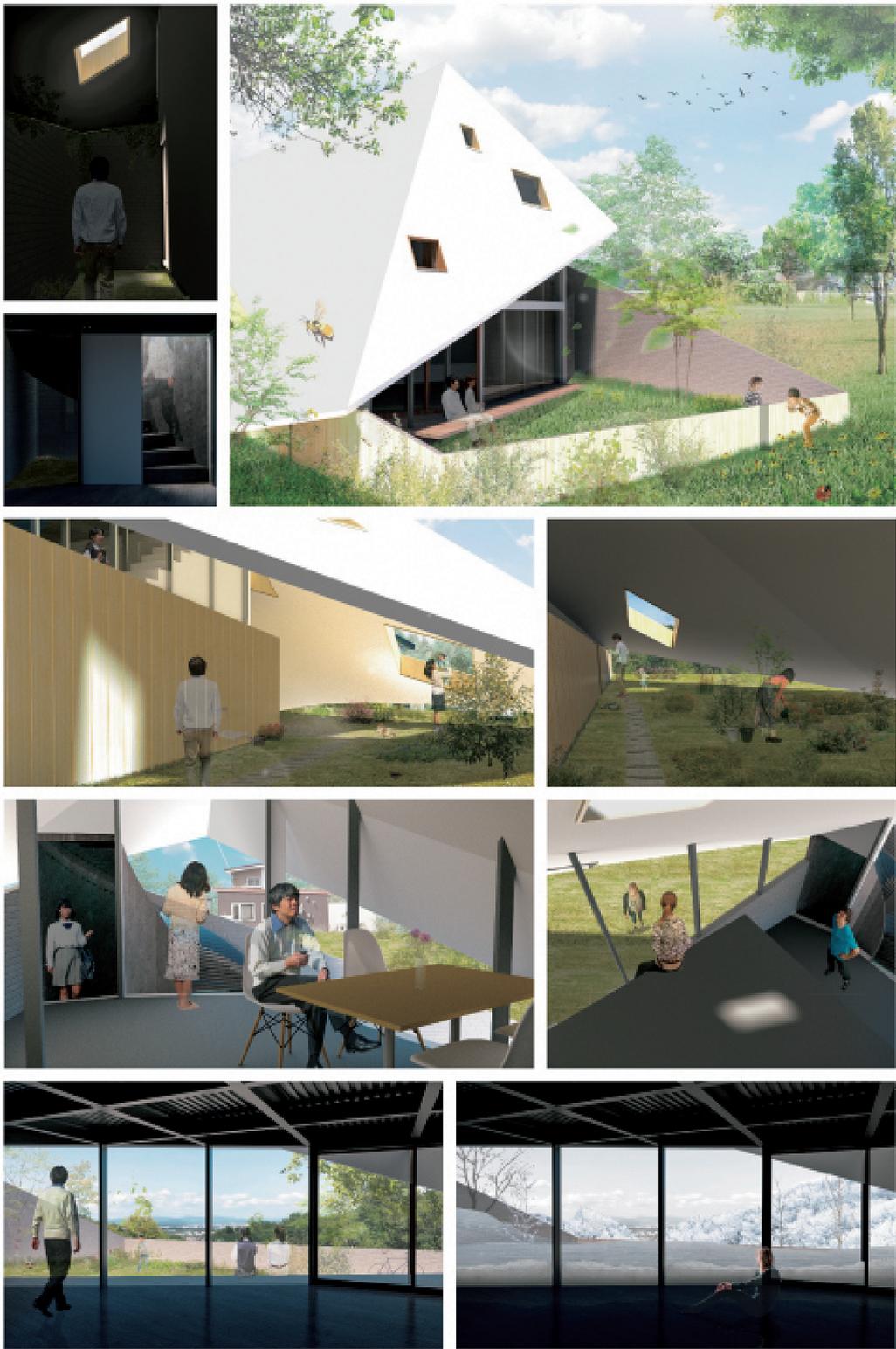
久しぶりに敷地へ足を運ぶと、小さい頃から見慣れた場所がそのままに残っていて、懐かしくなると同時に当

時はただ眺めていただけの場所に、こんな家があったらきっととても気持ちのいい暮らしをおくることが出来るだろうと、たくさんのイメージを膨らませていました。

その後の建築提案はプレゼンテーションボードにて説明を行っています。堅苦しい内容もあったかと思いますが、敷地が持っている多様な豊かさを受け止められる家をつくるために「盆の上でよろめく」とその立ち姿を形容しました。建築物は、外壁の直上に屋根がかかっていることが一般的ですが、この外壁と屋根がずれると、建築物の周辺にさまざまな性格を持った外部空間が出来ます。

まず、外壁と屋根のずれによって生じたテントのような空間からアプローチします。西側から南側へまわると、採光率が下がり、東側のスリットからの光が印象的となっています。塀の中へ入ると、さらに暗がり、トップライトが照らし出す玄関へ導かれます。玄関へ入ると、東側の大開口から旭川の盆地が一望出来る中庭が見えます。そこから階段で2階へ上がると、外壁と屋根の前後関係が方位毎に変化する家族室へつながっています。さらにロフトへ上がると、西側のアプローチと2階を同時に見下ろすことが出来ます。このように、外壁と屋根をずらす単純な操作によって、家の中にさまざまな性格を持った外部空間をつくり出しています。

今回、「ソトの家」という課題のもと、北の住まいのあり方を考える中、私たちが無意識に惹かれてしまう自然豊かな場所は、目を凝らすほどに小さな魅力が集まって出来ているものなのだを知ることが出来ました。何かと論理性や説明責任が求められる、乾いた世の中ではありますが、そこに確かに存在している小さな魅力を見逃さず、丁寧に拾い上げて、豊かな暮らしの糧と出来る、そんな建築家を目指して今後も精進していきます。



令和2年度	
北海道赤レンガ建築賞	夕張市拠点複合施設「りすた」
北海道赤レンガ建築奨励賞	株式会社イトイグループホールディングス CLT 新社屋

令和2年度 北海道赤レンガ建築賞

■主催

一般財団法人 北海道建築指導センター
 一般財団法人 北海道建設技術センター
 公益社団法人 日本建築家協会北海道支部
 一般社団法人 北海道建築士会
 一般社団法人 北海道建築士事務所協会
 北海道

■趣旨

地域社会の発展に貢献する創造性豊かな建築物等を表彰することにより、北海道における建築創造活動を促進し、健全な地域文化の発展と広く建築文化に対する意識の高揚を進め、もって、地域に根ざしたまちづくりの推進などを図ることを目的とします。

■表彰内容

- ・北海道赤レンガ建築賞 1点 表彰状、銘板
 - ・北海道赤レンガ建築奨励賞 数点 表彰状
- 両賞とも、北海道知事が建築主・設計者・施工者を表彰します。

■募集対象

北海道内に建設され、令和2年3月31日までに竣工した建築物及び建築物群とします（竣工後、概ね3年以内）。ただし、住宅など個人の利用に限定されるものは除きます。

■募集期間

令和2年8月3日から8月31日まで

■応募作品数

27作品

北海道赤レンガ建築賞実行委員会

一般財団法人 北海道建築指導センター
 一般財団法人 北海道建設技術センター
 公益社団法人 日本建築家協会北海道支部
 一般社団法人 北海道建築士会
 一般社団法人 北海道建築士事務所協会
 一般社団法人 北海道設備設計事務所協会
 一般社団法人 日本建築構造技術者協会北海道支部
 公益社団法人 日本建築積算協会北海道支部
 一般社団法人 建築設備技術者協会北海道支部
 一般社団法人 北海道建設業協会
 一般社団法人 北海道電業協会
 一般社団法人 北海道空調衛生工事業協会
 北海道管工事業協同組合連合会
 一般社団法人 北海道建築技術協会
 北海道

※実行委員長(一財)北海道建築指導センター理事長
 平向 邦夫

北海道赤レンガ建築賞審査委員会

委員長 羽深 久夫 札幌市立大学名誉教授
 副委員長 小町 美穂 (一社)北海道建築士会理事
 委員 小西 彦仁 (公社)日本建築家協会北海道支部支部長
 委員 菅沼 秀樹 (一社)北海道建築士事務所協会
 委員 平向 邦夫 (一財)北海道建築指導センター理事長

令和2年度協賛者(敬称略・順不同)

Sora 構造計画株式会社 大野土建株式会社
 株式会社アトリエブンク 株式会社高組
 新谷建設株式会社
 株式会社橋本川島コーポレーション
 株式会社柴滝建築設計事務所 株式会社ドーコン
 株式会社アイエイ研究所 株式会社小岩組
 吉宮建設株式会社

**■建築主** 夕張市**■設計者** (株)アトリエブंक

(株)山脇克彦建築構造設計

北海道大学大学院工学研究院都市地域デザイン学瀬戸口研究室

■施工者 ピーエス三菱・坂本建設工業特定JV

末廣屋・大晃・夕電・駒井特定JV

日管・北宝・泉特定JV

■建築物の概要

所在地：夕張市南清水沢4丁目48番地12

主要用途：事務所

構造及び階数：S造 平屋建

建築面積：1,959.37 m²延べ面積：1,747.02 m²

竣工年月日：令和元年12月20日

□企画の特徴 (地域との関わりなど、特に配慮した点)

「りすた」は、都市機能の強化に向けてまちの中心部に公的・公共的な機能や交通結節機能を集約・複合化した施設

です。まちの将来像である「安心して幸せに暮らすコンパクトシティゆうばり」の中核施設として、「笑顔とにぎわいがこだまする街」を実現させるべく、高校生をはじめ市民・市議会・市職員と当市のコンパクトシティ構想に助力をいただいている北海道大学（瀬戸口教授）等が一体となり計画段階から検討を重ね、「多世代交流の場として、市民が主体となって築き上げる施設」「子どもの賑わいが循環する安心で安全な施設」「多様な活動を生み出すフレキシブルで開放的な施設」を計画の柱に掲げ、あらゆる活動や交流の拠点として、市民が集い親しまれるよう計画しています。

□設計の特徴

国道と道道に挟まれた利便性が高い計画地は、元々は農地であり、北側には旧清水沢神社の仮宮跡が残る小高い鎮守の森が残されていました。設計に当たっては、この地から新たに始動する夕張の将来像を見据え、緑豊かな環境に包まれた都市拠点をイメージした「まちと自然をつなぐ建築」をコンセプトとしました。

建物は南側に間口を広げた台形状平面に、森に向けて緩やかに傾斜した大きな1枚屋根をのせた構成となって



います。南北面のファサードは全面ガラス張りとし、南面バスロータリーからは市民をおおらかに迎え入れ、高さ5.5mとなる北面からは森の緑に反射した光や風を取り込みます。開放的な平面を実現するため、300φ以下の鉄骨柱を8.1mグリッドで配し、外周部のみにブレースを集約させてデザインと構造の融合を図りました。道産カラマツ合板を短冊状にカットした木ルーバーが天井全面を覆い空間の一体感を強調します。市民ワークショップで検討された様々な機能は、入れ子状の小架構やガラススクリーンにより空間を緩やかに仕切りながら注意深くレイアウトしました。刻々と変化する自然を身近に感じられ、多様な活動が大きな屋根の下に展開される、「小さなまち」のような建築が生まれました。市民が自由にくつろぎ交流する、新しい夕張の拠点となることを期待しています。

□**施工の特徴**（工法の特徴、施工上の配慮、工夫等）

大空間で開放的な空間を演出するための主構造である鉄骨の品質管理及び施工に十分配慮しました。施工図作

成から工場製作、現場搬入、施工といったそれぞれの過程における品質管理や工程管理を徹底し工事を進めました。また、変形台形型の建築であるため各所におけるディテールの納めにも苦慮しましたが、施工図段階から設計者と綿密な打ち合わせを徹底し、施工に反映させました。

□**完成後の地域への貢献度等**

令和2年3月の供用開始以来、一時的に休館の時期はあったものの、中高生をはじめ多くの市民が立ち寄り施設を利用しています。施設内にある行政窓口での手続きが終わった後には市民の作品等が展示されているギャラリーを見学したり、バス通学の児童生徒がバス時刻までの間に待合交流スペースや学習室で学習をしていたり、未就学の子どもが集まることで親同士の交流や施設内にいる方々と自然に交流が生まれるようになりました。交通機能の結節だけではなく、人や活動（＝交流）、笑顔や賑わい（＝幸福）なども結節する、夕張の新たな「まちの駅」として始動しています。



■**建築主** (株)イトイグループホールディングス

■**設計者** (株)遠藤建築アトリエ

■**施工者** (株)イトイ産業

■**建築物の概要**

所在地：士別市朝日町中央 4527 番地 89

主要用途：事務所

構造及び階数：木造 (CLT) 2 階建

建築面積：450.63 m²

延べ面積：464.84 m²

竣工年月日：令和2年2月25日

□**企画の特徴** (地域との関わりなど、特に配慮した点)

士別市を拠点に地方創生企業を理念とするイトイグループホールディングスが、永らく木材を扱ってきたノウハウを活かし自社の理念の形として北海道産材（本建築では置戸町産トドマツ）を活用した再生エネルギーと省エネルギー構造による社屋を計画するにあたり、建築の新たな可能性を秘めた CLT 造での北海道内で民間初となる建築計画が始動しました。

CLT 工法の普及や建築性能の情報発信の為、工事中や竣工後に積極的に見学企画を受け入れ、環境性能デー

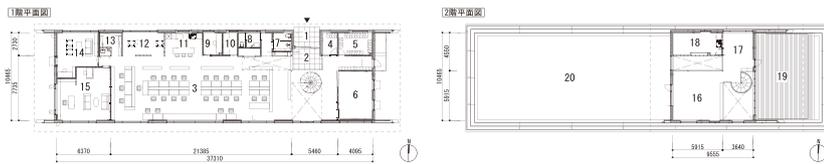
タの収集も行っています。

□**設計の特徴**

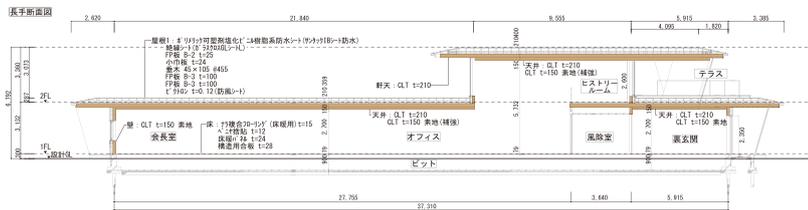
本建築は壁、2 階床、屋根を CLT により構成し、木の質感を感じられるよう CLT パネルは可能な限り室内外表わしとしました。壁構成は、特別豪雪地帯である士別市における積雪荷重に対してのアーチ効果の構造強化を意図すると同時に企業のアイコン的な働きを担える立面計画を行いました。執務空間の構造計画は、2 階床を 5 層 7 プライ (t=210) と 5 層 5 プライ (t=150) の 2 種類のパネルを強軸方向に重ねて接着貼りし、パネリードで上下から縫い付けて接合することで、デスクレイアウトの更新にも柔軟に対応可能な間口幅 7.7m の無柱空間を CLT パネルのみで実現しました。

また、照明はパネル間のスリットに組み込み、梁などの凹凸のないフラットな空間としました。

前面道路からの姿は周辺の風景の中で存在感と新たな地域景観を形成する事を目指しており、玄関ホールの螺旋階段は V 型の壁形状と共に水平感の強い空間内で上部へ伸び拡がる構成とし、発展する企業の可能性を重ね合わせました。



1. ボーテ	4. ロッカー室 (女性)	7. 男子靴	10. 個室2	13. 車庫	16. 休憩室	19. テラス
2. 事務所	5. ロッカー室 (男性)	8. 女子靴	11. 給湯室	14. 会長室	17. エストリールーム	20. 屋根
3. オフィス	6. 喫煙室	9. 個室1	12. ホワイエ	15. 社長室	18. 廊下	



□施工の特徴 (工法の特徴、施工上の配慮、工夫等)

CLT は、設計図でビスとアンカー位置を施工図レベルで調整することで現場での労力を極力減らし、最小限の人数 (基本大工 2 人) で組み上げから全ての施工を行いました。

また、CLT の将来性を鑑み、工法を普及するため施工は地元大工と自社とでチームを組んで行いました。

CLT 壁パネルと基礎は引きボルトと U 型アンカーで直接固定し、壁とスラブの階層間は引きボルトと長ビスで接合しました。水平パネル同士はハーフラップジョイント部分を長ビスで固定しています。工場で CLT スラブを事前に接着して搬入を行い、現場で建方前に長ビスで縫い付ける事で施工の省力化を図りました。

□完成後の地域への貢献度等

士別市周辺で年間に収集される流木や伐木は約 1,000 t にも上ります。

本建築の暖房熱源には、そうした地域未利用材を自社で収集し、木チップ化したものをバイオマスボイラーの燃料として利用する方式を採用しました。

バイオマスボイラーは別棟のコンテナ内に格納してある為、トレーラーによる運搬が可能であり、300 m² の床面積に半月の間暖房の供給ができます。災害時には避難所に設置し、水と木チップさえあれば給湯・熱源の供給を行える地域の災害対策資材となります。

また、本建築の環境性能を具体的に検証するため室温の他に壁面温度、外気温や部屋別の電力消費量など詳細な測定を行い、地域のリーダー企業であるイトイグループホールディングスがこれらのデータを用いて建築物の環境性能を検証し、その結果を公開していくことで北海道における地域資源を活かした持続的な建築物のモデルになることを目指しました。

審査講評

第1回審査委員会は、7月8日(水)の第1回実行委員会の開催を受けて、7月27日(月)に開催され、8月3日(月)から31日(月)までの応募期間などの今年度の応募要領を決定した。第1回審査委員会では、平成29年度(第30回)からの審査過程を踏まえ、本賞が健全な地域文化の発展と地域に根ざしたまちづくりの推進を図ることに貢献するよう、公共建築と民間建築、新築とリノベーションなど分け隔てなく広く応募を呼びかけることを確認した。

令和2年度(第33回)北海道赤レンガ建築賞は8月31日締切りで、27作品の応募があった。近年では第30回(平成29年度)の32作品に次ぐ多さで、平成30年度(第31回)の20作品、令和元年度(第32回)の17作品より増加するだけでなく、応募作品の内容も年々充実していると実感できた。

その内訳は、所在地別をみると、後志・檜山・留萌を除く11振興局内から応募があり、石狩が8、上川が5、空知が3、胆振・オホーツク・釧路が2、日高・渡島・宗谷・十勝・根室が1であった。主な用途をみると、社会福祉・保健施設と集会・交流施設とその他が5、学校・教育施設と事務所が3、店舗が2、病院、観覧場・展示施設、体育施設、工場が1で宿泊施設はなかった。設計事務所所在地は、石狩が20、道外が3、空知・渡島・上川・十勝が1と石狩の集中が続いている。建築主別をみると、国が1、市町村が14、その他団体が13で、公共建築とその他ではほぼ均衡がとれていた(民間2社共同が1)。

この応募結果を受けて、9月17日(木)に第2回審査委員会を開催して、一次審査として現地調査にあたる二次審査の対象作品を選出した。第1回審査委員会での確認事項を踏まえながら、これまでの審査基準として、「北海道赤レンガ建築賞は、創造性豊かな建築物等を表彰することにより、北海道における建築創造活動を促進し、健全な地域文化の発展と、広く建築文化に対する意識の高揚を進め、もって地域に根ざしたまちづくりを推進させることを目的とする。」を踏まえ、「赤レンガ建築賞20周年によせて」(『北海道赤レンガ建築賞1988-2007』平成20年1月刊、所収)にある越野武氏の強く、正しく、美しくを基本に、物語を紡ぐ建築であることを目指すとした。また、建築主・設計者・施工者を表彰することで、その作品が地域の力になる建築の力があること、さらに、50年を経過すれば文化財建造物の対象になるので、文化財保護法における文化財指定基準の一つである「意匠的に優秀なもの」に該当することも考慮した。

以上の審査基準の確認を踏まえ、審査委員全員で各自5作品を投票し、投票理由について意見交換を行った。また、関与作品のある審査委員は、当該作品の投票はできない。一次選考で27作品のうち14作品が推薦されたが、二次選考として2票以上を獲得した7作品を現地調査の二次審査対象に選出した(以下に、整理番号順に記す)。

- ①「雄武町図書館(雄図びあ)」 図書館、RC造・木造一部S造平屋建、延べ1,296 m²
- ②「北ガスグループ本社ビル」 事務所、RC造・SRC造・S造地上8階地下1階、延べ24,473.7 m²
- ③「札幌市立中の島小学校」 小学校、RC造一部SRC造4階建、延べ9,443.54 m²
- ④「株式会社イトイグループホールディングス CLT 新社屋」 事務所、木造(CLT) 2階建、延べ464.84 m²
- ⑤「北海道大学医学部百年記念館」 事務所、木造2階建、延べ744.1 m²
- ⑥「国立アイヌ民族博物館」 博物館、S造一部SRC造2階建、延べ8,618.04 m²
- ⑦「夕張市拠点複合施設『りすた』」 事務所、S造平屋建、延べ1,747.02 m²

「函館市亀田交流プラザ」(函館市)、「芽登集落センター」(足寄町)、「道の駅 遠軽 森のオホーツク」(遠軽町)、「占冠保育所」(占冠村)、「鷹栖地区住民センター『ふらっと』」(鷹栖町)、「サラブレッド牧場の建築群」(新ひだか町)の6件も一次選考では推薦され、コミュニティセンター・集会場を中心に幅広い用途での推薦があった。

第3回審査委員会は現地審査を行う二次審査にあたる。今回は、コロナ禍での感染対策として施設側の参加者を代表的な者とする、現地審査後の質問も認めるなどの調整を行い、また、実施日の延期も行った。審査委員(関与作品のある審査委員は参加しない)と事務局で、10月12日(月)から11月13日(金)にかけて行った(10/12(月)株式会社イトイグループホールディングス CLT 新社屋、10/19(月)北ガスグループ本社ビル、10/22(木)北海道大学医学部百年記念館、10/23(金)国立アイヌ民族博物館と札幌市立中の島小学校、11/10(火)夕張市拠点複合施設『りすた』、11/13(金)雄武町図書館(雄図びあ))。

第4回審査委員会は、7作品の現地調査の二次審査実施後に、審査委員5名が現地調査の審査講評を提出し、オンラインでの参加も認めて12月9日(水)に開催した。はじめに、第2回審査委員会で確認した審査基準を踏まえ審査の流れを確認し、とくに、本賞が広い意味での建築賞であること、竣工後の利用者の意見・評価や運営体制も考慮する必要があることも確認された。また、審査委員の講評と北海道赤レンガ建築賞の選考を行い、その後赤レンガ建築奨励賞の選考を進めることも合意した(関与作品のある審査委員は、当該作品の選考に参加しない)。

7作品のコンセプトは、それぞれオホーツク海が見える地元木材のぬくもりのある町民のための本のいえである図書館、発電所も備え中心市街地再開発地区のランドマークになるエネルギー拠点としての事務所、積雪寒冷地の学校建築のプロトタイプである体育館内包型校舎の小学校、創業からの企業理念である地域とともにをCLT工法で体現した事務所、大学施設の歴史を踏まえキャンパス再整備の拠点となる木造の集会所、アイヌ文化振興のナショナルセンターとしてBIMを駆使して空間表現した博物館、地方都市の拠点整備としてターミナルと住民活動を集約したハイサイドライトをもつ行政施設である事務所となっている。一般的には閉鎖性が求められる民間の事務所が地域との交流を積極的に進めていること、道産材を活用するCLT工法の採用、プロトタイプとしての体育館内包型校舎の展開や蓄

積してきたトップライト技術の発展がみられ、北海道において蓄積してきた建築技術が建築計画として醸成されていることを実感させる作品である。これまで、建築の質を問う前に耐震性能や耐寒性能が強く求められ、建築計画が制約されることもあったが、公共・民間、用途、所在地を問わず北海道らしい建築デザインが展開していることがわかる。

審査委員間で活発な意見交換を行い、その結果、本賞に「夕張市拠点複合施設『りすた』」を選考した。本賞選考後、奨励賞対象作品の有無について審議して、奨励賞を「株式会社イトイグループホールディングス CLT 新社屋」とした。

「雄武町図書館（雄図びあ）」はコンセプトと混構造の関係性、「北ガスグループ本社ビル」は隣接するエネルギーセンターとの関係と一般開放の方法、「札幌市立中の島小学校」は体育館への採光と通風、「北海道大学医学部百年記念館」は学内利用と周辺住民への開放、「国立アイヌ民族博物館」は民族共生象徴空間における他施設との関係性などに課題が見いだされた。その中で、昨年度の「北見市立留辺蘂小学校」と同じく「札幌市立中の島小学校」が（一社）日本建築士事務所協会連合会の表彰を受けたことは、北海道における体育館内包型校舎が全国的に評価されている証であり、設計者の今後の環境性能の分析に基づいた展開が期待される。

第4回審査委員会の審査状況は、1月22日（金）に開催された第2回実行委員会で報告し、本賞・奨励賞の知事表彰の手続きが承認された。

令和2年度(第33回)北海道赤レンガ建築賞 夕張市拠点複合施設「りすた」

夕張市は、平成18年（2006年）に財政破綻した後、コンパクトシティの形成を目指すまちづくりマスタープランの策定、清水沢地区拠点整備の検討、地域再生計画の策定（内閣府認定）、施設基本構想の策定、北海道の事業認定、施設管理・運営の検討と事業を進め、施設は「はっぴーばりー STATION」の略称「りすた」を愛称に、まちの駅として令和2年（2020年）3月に供用が開始された。

事業の検討は、市民協働で行われ、公民館・図書館・児童館・子育て支援の行政機能と公共交通としてのバスターミナル機能を融合するために、ワークショップで上がった196の意見を基づいて、空間計画と諸室配置を行っている。また、設計者の長年にわたるトップライトの検討から長さ約15m×高さ2.5mのハイサイドライトを設け、通年にわたる採光と通風を確保している。

北側に旧清水沢神社と鎮守の森、西側の旧夕張線軌道跡を国道452号線との緩衝帯、南側に交通ロータリーに接するエントランスと駐車場を配置し、東側の住宅地境は路地風のアプローチがあり、周辺のまちと緑を繋ぐ工夫がある。直径300mm以下の鉄骨柱を8.1mグリッドに配し、外周部のみプレースを設け、短冊状の道産カラマツ合板のルーバーが天井を覆い、空間の一体感を高めている。

施設の運営管理も時間ごとの空間利用を基に検討済みで、路線バスの増便、学習室・図書室の利用と子育て世代の利用も想定を上回っている。公共施設を集約して、子供の居場所づくりと世代間交流を進め、公共交通の利便性も高めた「笑顔とにぎわいがこだまする街」づくりは順調に進んでいる。

以上の点を踏まえ、「夕張市拠点複合施設『りすた』」は、財政破綻を市民とともに乗り越え、市民協働の結果生まれた施設で、地域社会の発展に貢献する創造豊かな建築であり、建築文化の振興や地域に根ざしたまちづくりに貢献し、意匠的にも優れ、市民の活動の場を創造した建築であることを評価して令和2年度の北海道赤レンガ建築賞を贈る。

令和2年度(第33回)北海道赤レンガ建築奨励賞 株式会社イトイグループホールディングス CLT 新社屋

建築主は昭和23年（1948年）に造林業を創業以来、地域創生企業を理念に地名である「糸魚」を社名として、地域資源の活用と事業を通しての地域への還元を目指してきた。創業70周年記念の新社屋は、地域への貢献を図る時点で、道産材のCLT工法に挑戦するのは当然の帰結であったかもしれない。北海道士別市朝日町の民間企業が小規模ではあるが、地域住民への開放に苦心し、CLT工法により間口7.7m・奥行33mの無柱空間の事務所建築を実現したことは賞賛に値する。CLT工法は、道産材であっても母版の製作と仕口加工は道外工場に委ねるしかなく、面材による剛性と接合部の施工精度、設備系の配管配線の納まりなど多くの課題もみられるが、設計者と施工者は現時点におけるCLT工法のモデルを提示している。CLTを活かした外断熱、庇による日射遮蔽、暖冷房の省エネ化は、室内の環境性能の測定データにより検証される。天塩川流域の流木・伐木はバイオマスボイラーで熱源となり、ボイラーは移動式コンテナに収納され災害対応可能であるなど地域資源を地域貢献に結び付けている。

社屋は、天塩岳山系を望む軸線を東西軸とし、北側にエントランスと個室群を配し、南側を森林を眺望する大開口とし、東側2階はテラスを含め一般開放スペースである。CLTパネルはトレーラ積載可能な2,350mm・11,750mmを最大寸法に、壁版は5層5プライでスキージャンプ競技との関連からV字形にデザインし、床版は5層7プライと5層5プライのパネルを接着させた。

以上の点を踏まえ、「株式会社イトイグループホールディングス CLT 新社屋」は、創業以来地域社会の発展に貢献し、新たな技術であるCLT工法に挑戦した創造豊かな建築であり、建築文化の振興や地域に根ざしたまちづくりに貢献し、建築技術にも優れ、地域創生を体現した建築であることを評価して令和2年度の北海道赤レンガ建築奨励賞を贈る。

北海道赤レンガ建築賞 審査委員会委員長 羽深 久夫

令和2年度

高校生建築デザインコンクール

課題／「南幌町 みどり野きた住まいるヴィレッジに建つ北方型住宅」

■はじめに

公共建築物は、行政や教育・文化、医療・福祉、研究など、さまざまな分野で、地域の産業や人々の生活に密接な関わりを持ち、地域の活性化や生活の質の向上のほか、気候風土等と調和した魅力あるまちづくりを推進する上でも重要な役割を果たしています。

道では、将来の建築技術の担い手育成を図るとともに、道民に愛され親しまれる施設整備を進めるため、道内で建築を志す建築系学科に在籍する高校生を対象に夢のあるユニークなデザインを募集する「高校生建築デザインコンクール」を平成8年度から実施しています。

平成12年度からは、公益財団法人日本建築家協会北海道支部、一般社団法人北海道建築士事務所協会、一般社団法人北海道建築士会との共催事業となり、今回で25回目の開催となりました。

令和2年度は、北海道の気候風土に適した質の高い住宅として道が普及を進めている北方型住宅を題材として、南幌町にある「みどり野きた住まいるヴィレッジに建つ北方型住宅」を設計課題として募集したところ、9校155人から144作品の応募がありました。

この設計課題では、夫婦2人に子どもが2人いる子育て世帯が住む、庭付き一戸建て住宅を想定しており、応募作品には南幌町の豊かな周辺環境を取り込んだプランや、子育て世帯の生活の移り変わりも踏まえたプランなど、高校生ならではの創造力豊かな作品が数多く寄せられました。

厳正な審査の結果、最優秀作品賞1作品、優秀作品賞3作品、佳作4作品、特別賞2作品が選定されました。受賞者の皆様、誠にありがとうございます。

参加いただいた全ての皆様の学んだ経験が、今後建築技術者として第一線で活躍される上で貴重な財産になることを期待しております。

令和2年度高校生建築デザインコンクールの実施概要

道内の建築を志す高校生の勉強の励みとし、将来の建築技術者となる若年層の育成と技術向上に寄与することを目的として、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

道内の高等学校（建築系学科）に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

1 課題

「南幌町みどり野きた住まいのヴィレッジに建つ北方型住宅」

南幌町みどり野きた住まいのヴィレッジに夫婦2人に子どもが2人いる子育て世帯が住む、庭付き一戸建ての北方型住宅を提案してください。

2 応募資格

道内高等学校（建築系学科）に在籍する個人又は3名以下のグループ

3 提出図面

JIS規格 A2判（420mm×594mm）横置き1枚片面に下記の全ての図面を描く

- (1) 作品タイトル
- (2) 設計主旨
- (3) 配置図・平面図 1/100～1/150
- (4) 断面図 1/50～1/100
- (5) 立面図 1/50～1/100（1面）
- (6) スケッチ又は模型写真又は透視図
- (7) 面積表

4 応募作品

155名から144作品の応募

5 入選作品

最優秀作品1作品・優秀作品3作品・佳作4作品・特別賞2作品

6 経過

募集要項配布 令和2年7月3日

作品受付 令和2年12月15日まで

選定委員会 令和2年12月22日

作品展 令和3年1月12日から

令和3年1月13日まで

7 選定委員

十河 昌司（公益社団法人日本建築家協会北海道支部 教育委員会教育委員長）

重綱 博美（一般社団法人北海道建築士事務所協会 業務・技術委員会担当副会長）

松本 純（一般社団法人北海道建築士会まちづくり委員会副委員長）

唐川 智幸（北海道教育庁学校教育局高校教育課長）

山口 元（北海道建設部建築局建築整備課長）



審査総評

「高校生建築デザインコンクール」は、道内の建築系学科の高等学校に在籍する生徒の皆様から、道が整備する公共建築物などのデザインについて、高校生らしい夢のあるユニークなアイデアを広く募集するとともに優れた作品を表彰しているものです。

令和2年度は、南幌町にある「みどり野きた住まいるヴィレッジに建つ北方型住宅」を設計課題として募集したところ、144作品という多くの応募がありました。この度は新型コロナウイルス感染症による制約が多い中、多く関係者の多大なご協力により、高校生建築デザインコンクールを盛況に開催することができました。

選定委員を代表して、関係者の皆様にお礼を申し上げます。

応募作品は、きた住まいるヴィレッジのルールを踏まえた建物の内と外とのつながりを意識した様々な仕掛けのあるデザインなど、高校生らしい表現力豊かなエネルギーあふれる作品が数多く見られました。

審査にあたっては、「高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか」「設計のコンセプトやデザインに魅力があるか」「立地条件を活かしているか」「きた住まいるヴィレッジのデザインルールに沿っているか」といった観点から厳正に行い、最優秀作品1作品、優秀作品3作品、佳作4作品、特別賞2作品を選定いたしました。

このほか、惜しくも入賞されなかった作品の中にも、高校生らしい創造性にあふれたデザイン提案が数多くありました。

このコンクールへ参加したことにより、さらに建築に対する関心を高め、建築技術を学ぶ皆様の学習意欲の高揚や将来の建築関連分野への進路選択にもつながることを期待しております。

今回、ご応募いただきました皆様のこれからのご活躍をお祈りし、審査総評とさせていただきます。

令和2年度高校生建築デザインコンクール選定委員会
委員長 北海道建設部建築局建築整備課長 山口 元

令和2年度高校生建築デザインコンクール入賞者一覧

最優秀作品賞（1作品）

阿部 大翔（北海道小樽未来創造高等学校 3年）

優秀作品賞（3作品）

松村 里玖（北海道小樽未来創造高等学校 3年）

高橋 鉄三（北海道苫小牧工業高等学校 2年）

相原 柚奈（北海道函館工業高等学校 2年）

佳作（4作品）

鈴木 萌（北海道札幌工業高等学校 3年）

阿部 彩華（北海道小樽未来創造高等学校 2年）

天池 夏稀（北海道旭川工業高等学校 2年）

小野 朝陽（北海道留萌高等学校 3年）

特別賞（2作品）

古山 和人（北海道小樽未来創造高等学校 3年）

金山 悠飛（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

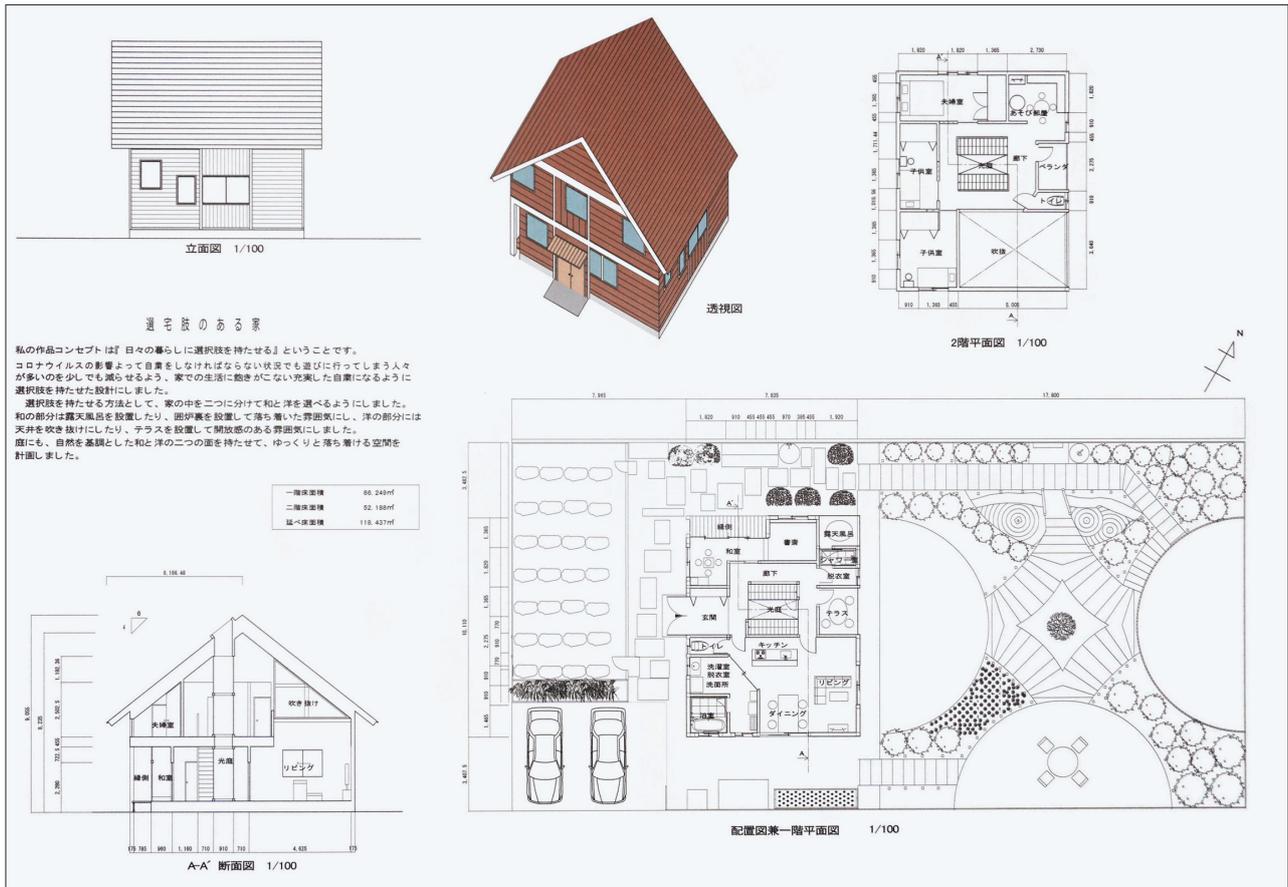
紺野 青空（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

入賞作品

最優秀
作品賞

北海道小樽未来創造高等学校

阿部 大翔（3年）



選宅枝のある家

私の作品コンセプトは『日々の暮らしに選択枝を持たせる』ということです。コロナウイルスの影響によって自粛をしなければならない状況でも遊びに行ってしまう人々が多いのを少しでも減らせるよう、家での生活に飽きがこない充実した自粛になるように選択枝を持たせた設計にしました。

選択枝を持たせる方法として、家の中を二つに分けて和と洋を選べるようにしました。和の部分は露天風呂を設置したり、囲炉裏を設置して落ち着いた雰囲気にし、洋の部分には天井を吹き抜けにしたり、テラスを設置して開放感のある雰囲気になりました。

庭にも、自然を基調とした和と洋の二つの面を持たせて、ゆっくりと落ち着ける空間を計画しました。

作品名「選宅枝のある家」

設計主旨

私の作品コンセプトは『日々の暮らしに選択枝を持たせる』ということです。コロナウイルスの影響によって自粛をしなければならない状況でも遊びに行ってしまう人々が多いのを少しでも減らせるよう、家での生活に飽きがこない充実した自粛になるように選択枝を持たせた設計にしました。

選択枝を持たせる方法として、家の中を二つに分けて和と洋を選べるようにしました。和の部分は露天風呂を設置したり、囲炉裏を設置して落ち着いた雰囲気にし、洋の部分には天井を吹き抜けにしたり、自然を基調とした和と洋の二つの面を持たせて、ゆっくりと落ち着ける空間を設計しました。

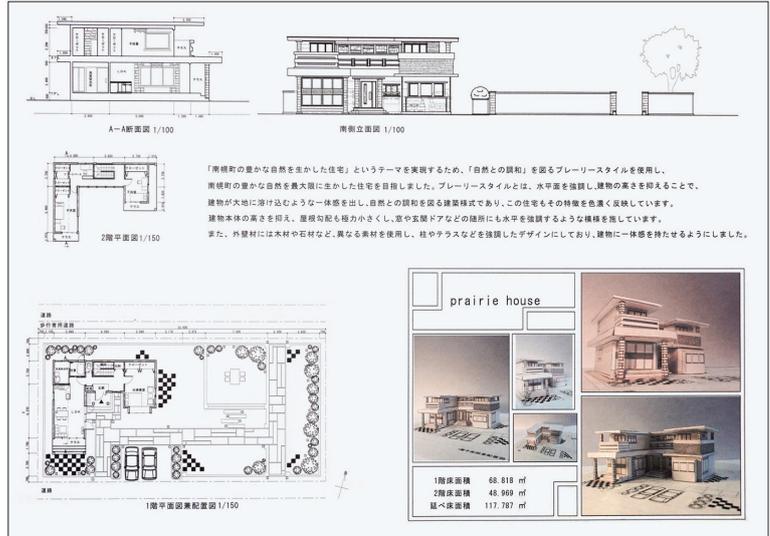
審査講評

全方位に開放した平面計画に力量を感じる。
シンプルな外観ながら光庭を取り囲む部屋の配置が良く、採光を取り入れつつ外部空間を室内に取り込む仕掛けが高く評価された。

優秀作品賞

北海道小樽未来創造高等学校

松村 里玖（3年）



作品名「prairie house」

設計主旨

「南幌町の豊かな自然を生かした住宅」というテーマを実現するため、「自然との調和」を図るプレーリースタイルを使用し、南幌町の豊かな自然を最大限に生かした住宅を目指しました。プレーリースタイルとは、水平面を強調し、建物の高さを抑えることで、建物が大地に溶け込むような一体感を出し、自然との調和を図る建築様式であり、この住宅もその特徴を色濃く反映しています。建物本体の高さを抑え、屋根勾配も極力小さくし、窓や玄関ドアなどの随所にも水平を強調するような模様を施しています。また、外壁材には木材や石材など、異なる素材を使用し、柱やテラスなどを強調したデザインにしており、建物に一体感を持たせるようにしました。

審査講評

玄関へのアプローチを長くすることにより想定敷地も取り込み、室内からの見え方、空間的に豊かさを感じさせ、デザイン及びプランの仕上がりレベルの高さが評価された。

優秀作品賞

北海道苫小牧工業高等学校

高橋 鉄三（2年）



作品名「展望の家」

設計主旨

自然に囲まれた大地の中で朝日から夕日までの太陽の日差しを取り込む多目的プレールームを2階に設け、夜は、満点に輝く星を展望ドームから眺める家を提供する。2階の子ども部屋のプレールーム側の壁に内容窓を付けやわらかな採光を得る。冬には、テラスに屋根の雪でドーム型のかまくらを作って遊ぶ。共有の隣接地にバーベキューの道具を保管出来る小屋やピザ窯を設けて交流をはかる。

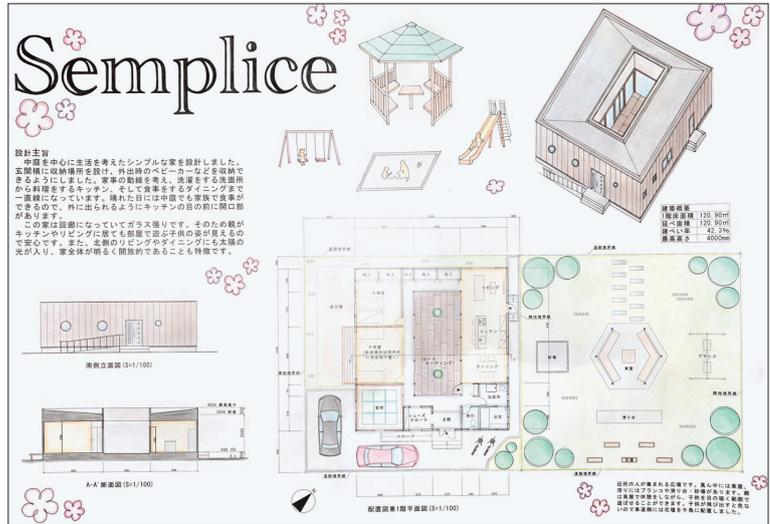
審査講評

コンセプトが明確で、子どもにとってすごく楽しい空間となる作り込みや様々な仕掛けなど、豊かな表現力及びアイデアが評価された。

優秀 作品賞

北海道函館工業高等学校

相原 柚奈 (2年)



作品名「Semplice」

設計主旨

中庭を中心に生活を考えたシンプルな家を設計しました。玄関横に収納場所を設け、外出時のベビーカーなどを収納できるようにしました。家事の動線を考え、洗濯をする洗面所から料理をするキッチン、そして食事をするダイニングまで一直線になっています。晴れた日には中庭でも家族で食事ができるので、外に出られるようにキッチンの目の前に開口部があります。この家は回廊になっていてガラス張りです。そのため親がキッチンやリビングに居ても部屋で遊ぶ子供の姿が見えるので安心です。また、北側のリビングやダイニングにも太陽の光が入り、家全体が明るく開放的であることも特徴的です。

審査講評

中庭の提案が魅力的であり、室内のどこにいても自然が感じられ、可愛らしい暖かい表現や楽しい空間となるプランが評価された。

佳作

北海道札幌工業高等学校

鈴木 萌 (3年)



作品名「楽しむ家」

設計主旨

今回設計した「楽しむ家」は、間仕切壁を極力設けず、土間を現代に蘇らせ、新たな可能性を考えた設計としました。間仕切壁は、子供の成長や生活様式に合わせて増減することができます。また、単一空間や、必要性にあわせて空間を間仕切る等、同じ家に住んでいながら、全く違う家に住んでいるような感覚になれるよう、家に「住む」だけでなく家を「楽しむ」ことができるような設計としました。キッチンと土間としていることで、買い物から帰宅後の動線をシンプルにしました。また、半屋外にピロティを設けることにより空間に広がりや縁側的な要素も取り入れ室内空間が開放感に溢れるよう工夫しました。

審査講評

吹き抜けのリビングダイニングが気持ちよく、家族の成長を考えた可変性のある提案が評価された。

佳作

北海道小樽未来創造高等学校

阿部 彩華 (2年)



作品名「family museum」

設計主旨

「家族の成長が見える家」と言うテーマに沿って計画しました。子供部屋には取り外し可能な可動間仕切りを使用し、子供の成長に合わせて広く使ったり、個々の空間としても使用できるようにしました。廊下には、家族の写真などを壁に掛け、渡るたびに子供の成長を感じられるように、収納棚をあえて低く設置しました。廊下のフロアにレベル差を設けることによって、廊下をギャラリー空間として感じられるようにしました。また、北側には明かりを付けなくても十分な光が廊下に広がるように、ハイサイドライトを設置しました。

審査講評

廊下の配置や広さに意図が感じられ、周辺環境とマッチングしている南幌らしい住宅デザインが評価された。

佳作

北海道旭川工業高等学校

天池 夏稀 (2年)



作品名「感～新しい感を～」

設計主旨

この家は、「デザイン性」「開放感」をコンセプトに設計しました。デザイン性の高い家を設計するために四角形ではなく円形を使い周りと差を生みました。さらに円形にすることで風が抜けやすくなり自然災害にも強くなり、さらに空調や省エネルギーの効果も高くなるので快適に過ごすことができます。開放感を出すためにリビングを吹き抜けにしました。また各部屋の天井も高くしてより開放感を出しました。コンクリート構造にすることで熱が逃げづらくなり冬でも暖かく過ごすことができ、さらに地震にも強く遮音性が高い家になりました。水廻りをコンパクトに収めたり、1階に子供部屋、夫婦の寝室を配置し動線も意識して設計しました。

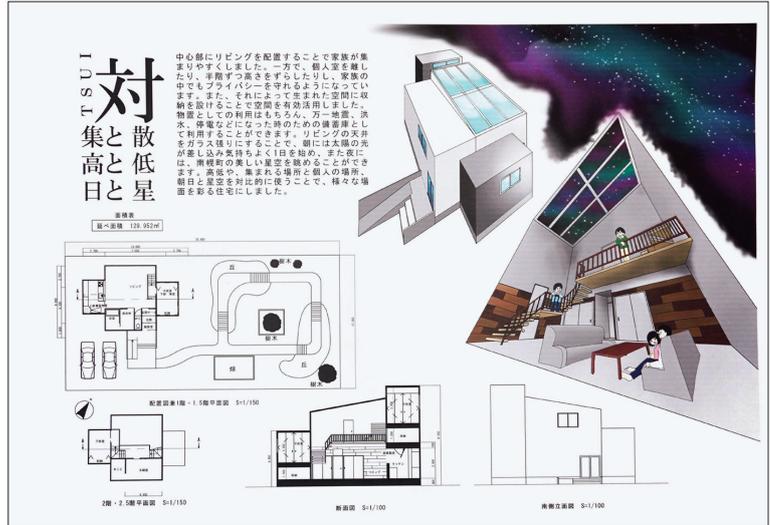
審査講評

豊かな感性が感じられ、難しい形態を上手くまとめあげた創造性のあるデザインが評価された。

佳作

北海道留萌高等学校

小野 朝陽 (3年)



作品名「対集と散 高と低 日と星」

設計主旨

中心部にリビングを配置することで家族が集まりやすくなりました。一方で、個人室を離したり、半階ずつ高さをずらしたりし、家族の中でもプライバシーを守れるようになっています。また、それによって生まれた空間に収納を設けることで空間を有効活用しました。物置としての利用はもちろん、万が一地震、洪水、停電などになった時のための備蓄庫として利用することができます。リビングの天井をガラス張りにすることで、朝には太陽の光が差し込み気持ちよく1日を始め、また夜には、南幌町の美しい星空を眺めることができます。高低や、集まれる場所と個人の場所、朝日と星空を対比的に使うことで、様々な場面を彩る住宅にしました。

審査講評

子どもが喜んで遊び回りそうな室内と外構の動線が魅力的であり、南幌の美しい空を取り込んだ素直な計画及び表現力が評価された。

特別賞

北海道小樽未来創造高等学校

古山 和人 (3年)



作品名「STEPハウス」

設計主旨

この家は、家族とのふれあいをテーマに作りました。居室からリビングまでの間仕切りを少なくすることにより、居室を出るとリビングを見渡すことができ、顔を合わせるによりお互いを認識して自然と家族が集まれる空間になり、ふれあいを保てるように作りました。また、階段でダイニングをより開放的な空間になるようにしました。各居室の床高を変えることにより、周囲との空間の分かれ目を意識し差別化を図りました。階段を上った先には全面ガラス張りのサンルームを作り、高いところから春夏秋冬景色を楽しんだり、本を読んでくつろげるスペースを作りしました。

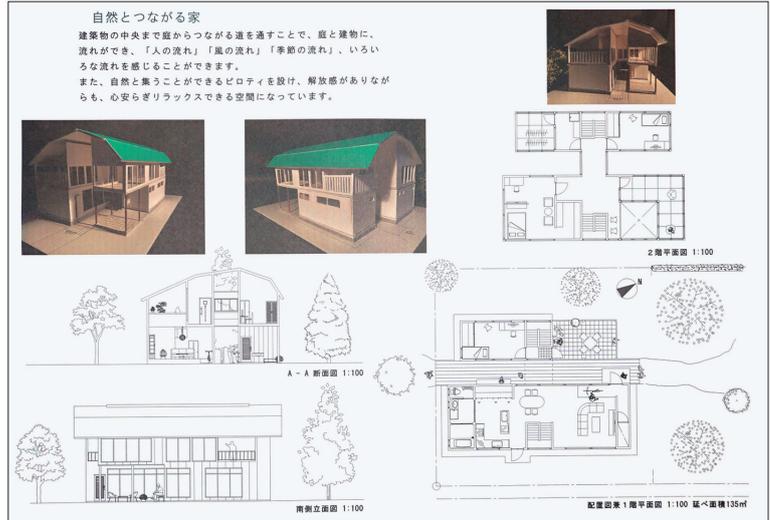
審査講評

大胆な屋根形状と入口から部屋への配置に創造性があり、スキップフロアの先が庭への展望となっており、自然と誘導される点が評価された。

特別賞

北海道苫小牧工業高等学校

金山 悠飛 (3年)
紺野 青空 (3年)



作品名「自然とつながる家」

設計主旨

建築物の中央まで庭からつながる道を通すことで、庭と建物に、流れができ、「人の流れ」「風の流れ」「季節の流れ」、いろいろな流れを感じることができます。また、自然と集うことができるピロティを設け、解放感がありながらも、心安ぎリラックスできる空間になっています。

審査講評

マンサード屋根と開放感、空間づくりに創造性があり、地域と生活のつながりと風を感じられるプランが評価された。

令和2年度高校生デザインコンクール応募者名簿

北海道札幌工業高等学校

- 植村 豪 [3年]
- 大森 天愛 [3年]
- 大泉 隼人 [3年]
- 河村 真之介 [3年]
- 北野 歩架 [3年]
- 鈴木 萌 [3年]
- 中村 建太 [3年]
- 平野 吉晃 [3年]
- 安井 悠人 [3年]
- 山田 匠 [3年]
- 天野 颯太 [3年]
- 新井 夢人 [3年]
- 岡田 奈那美 [3年]
- 佐藤 海蘭 [3年]
- 佐藤 マリア [3年]
- 田中 棕太 [3年]
- 長井 優雅 [3年]
- 真鍋 春樹 [3年]
- 山越 良多 [3年]

北海道小樽未来創造高等学校

- 阿部 大翔 [3年]
- 岩井 愛叶 [3年]
- 切無 佑 [3年]
- 駒野 蓮 [3年]
- 古山 和人 [3年]
- 紺谷 真人 [3年]
- 酒井 ほのか [3年]
- 佐々木 歩夢 [3年]
- 佐藤 大悟 [3年]
- 佐藤 流星 [3年]
- 空地 恵奏 [3年]
- 高橋 海斗 [3年]
- 高橋 颯汰 [3年]
- 高橋 勇真 [3年]
- 田中 真梨奈 [3年]
- 千葉 康隆 [3年]
- 豊島 若菜 翔 [3年]
- 西口 大空 [3年]
- 藤原 朱莉 [3年]
- 松村 里玖 [3年]
- 南 一樹 [3年]
- 村岡 蒼太 [3年]
- 阿部 彩華 [2年]
- 安藤 匠汰 [2年]
- 井浦 隼太 [2年]
- 大宮 蒼太 [2年]
- 岡本 和士 [2年]
- 奥山 雪乃 [2年]
- 越智 妃里乃 [2年]
- 麻績 綺音 [2年]
- 佐藤 蓮心 [2年]
- 庄木 蓮心 [2年]
- 滝澤 空 [2年]
- 竹生 亮太 [2年]
- 千葉 啓太郎 [2年]
- 原 恭生 [2年]
- 日和 勝 [2年]
- 福井 未来 [2年]
- 船木 未希 [2年]
- 保坂 璃人 [2年]
- 村上 穂風 [2年]
- 森山 悟士 [2年]
- 山本 雄大 [2年]
- 吉田 大樹 [2年]

北海道苫小牧工業高等学校

- 中岡 樹希 [3年]
- 高橋 鉄三 [2年]
- 金山 悠飛 [3年]
- 紺野 青空 [3年]
- 奥 晃義 [3年]
- 下村 兎義 [3年]
- 小野寺 芽衣子 [3年]
- 千葉 心美 [3年]
- 戸祭 穂乃 [3年]
- 横山 心 [3年]
- 以下2名グループ
- 山本 瑤 [3年]
- 波多 悠汰 [3年]
- 山下 嵐 [3年]
- 山岸 夢星 [3年]
- 小畑 前 [3年]
- 片野 涉 [3年]

北海道函館工業高等学校

- 今岡 尚 [3年]
- 中條 明理沙 [3年]
- 相原 柚奈 [2年]
- 四十物 谷鷹翔 [2年]
- 稲垣 寧央 [2年]
- 白木 諒月 [2年]
- 小川 真礼 [2年]
- 小倉 愛加 [2年]
- 木村 心 [2年]
- 越崎 陽奈美 [2年]
- 小林 佳音 [2年]
- 瀬川 桃彩 [2年]
- 高橋 祐衣 [2年]
- 長岡 幸希 [2年]
- 野呂 流翔 [2年]
- 福田 倭 [2年]
- 藤島 達也 [2年]
- 三浦 桜乃 [2年]
- 三品 響季 [2年]
- 山谷 遥奈 [2年]
- 渡邊 佑 [2年]

北海道旭川工業高等学校

- 阿部 竜希 [2年]
- 天池 夏稀 [2年]
- 伊藤 大智 [2年]
- 遠藤 成悟 [2年]
- 近江 賢一朗 [2年]
- 太田 瑞輝 [2年]
- 岡本 海 [2年]
- 榎季 将輝 [2年]
- 小畑 蒼志 [2年]
- 折田 瑠夕 [2年]
- 金内 陽奈 [2年]
- 神山 巧巳 [2年]
- 木村 咲太 [2年]
- 木村 麗 [2年]
- 在家 優輝 [2年]
- 齋藤 皓太 [2年]
- 坂本 大輔 [2年]
- 田中 優伊 峻 [2年]
- 谷 峻 [2年]
- 千葉 朱一 [2年]
- 千葉 彩羽 [2年]
- 土屋 美沙希 [2年]
- 遠田 悠太 [2年]
- 長出 くるみ [2年]
- 長谷川 高人 [2年]
- 平井 真樹 [2年]
- 藤原 健介 [2年]
- 松坂 瑛士 [2年]
- 松苗 紗花 [2年]

- 室屋 愛佳 [2年]
- 森 楓良 [2年]
- 山田 さくら [2年]
- 横山 創 [2年]
- 米屋 璃里花 [2年]

北海道名寄産業高等学校

- 以下3名グループ
- 井戸 ひかる [3年]
- 川中 翼 [3年]
- 渡辺 諒太 [3年]
- 以下2名グループ
- 松平 隆希 [3年]
- 赤川 涉光 [3年]
- 愛沢 健人 [3年]
- 村上 善 [3年]

北海道留萌高等学校

- 平田 陽菜 [3年]
- 高野 光生 [3年]
- 戸草 内璃空 [3年]
- 小野 朝陽 [3年]
- 立山 力陸 [3年]
- 水野 大介 [3年]
- 縄 翔太 [3年]
- 山内 一紗 [3年]

北海道帯広工業高等学校

- 清水 脩 [3年]
- 澁口 優奈 [3年]

北海道釧路工業高等学校

- 浅利 陽花 [2年]
- 大越 翔斗 [2年]

高校別応募作品一覧

学校名	応募作品数	参加人数
北海道札幌工業高等学校	19	19
北海道小樽未来創造高等学校	45	45
北海道苫小牧工業高等学校 (全日制・定時制)	9	16
北海道函館工業高等学校	21	21
北海道旭川工業高等学校	35	35
北海道名寄産業高等学校	3	7
北海道留萌高等学校	8	8
北海道帯広工業高等学校	2	2
北海道釧路工業高等学校	2	2
計	144	155

【設計会館】の建設について

設計会館の建設については、昨年10月に工事請負契約を締結し、工事を進めてきたところですが、1月中旬には完成し、来年1月30日(日)には、いよいよ引越を行うことになりました。

現在、工事の進捗は、完成まであと一步のところですが、現段階（R3年11月25日(木)）での進捗状況を写真でお知らせします。

なお、この設計会館の建設に当っては、多くの方々から建設協力金が寄せられました。皆様方の当協会に対するご支援に感謝します。



南東から見た外観ファサード



東から見た外観ファサード



協会事務室



大会議室



令和3年10月下旬
7階



令和3年10月下旬
8階



令和3年10月下旬
9階



令和3年10月下旬
東面



令和3年09月下旬
東面



令和3年09月下旬
9階



令和3年09月下旬
8階



令和3年09月下旬
7階



令和3年08月中旬
東面



令和3年08月下旬
内部2階



令和3年07月下旬
内部2階



令和3年07月中旬
東面



令和3年06月下旬
9階立上り施工状況 正面1 東面



令和3年06月中旬
8階立上り施工状況 正面1 東面



令和3年05月下旬
7階立上り施工状況 正面1 東面



令和3年05月中旬
正面1 東面



令和3年04月下旬
正面1 東面



令和3年04月中旬
正面1 東面



令和3年03月末
正面2 北東面：南側 JR 函館本線を臨む



令和3年03月末
正面1 東面



令和3年03月末
4階立上り型枠組立状況



令和3年2月末
3階スラブ配筋状況(一部デッキ型枠使用)



令和3年01月末
1階立上り型枠組立状況



令和2年12月末
1階床コンクリート打設完了

第44回建築士事務所全国大会(熊本大会)の中止について

建築士事務所全国大会は、これまで以下のとおり開催されてきましたが、昨年度、福井大会が中止され、今年度は、熊本大会が中止となりました。いずれも新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止せざるを得なかったものです。建築士事務所の全国大会は、昭和51年の東京大会を皮切りに、令和元年の福島大会まで33回にわたり開催してきましたが、令和2年、令和3年と2年連続して中止になりました。令和4年度以降の開催は、下記の順で行われることが決定しておりますが、このコロナ禍が一日も早く収束し、無事開催されることを願っております。

○全国大会のあゆみ

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
東京	京都	栃木	広島	山形	神奈川	大阪	北海道	福岡	愛知
第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回
宮城	東京	岡山	沖縄	兵庫	秋田	石川	長野	鹿児島	香川
第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回
滋賀	岩手	静岡	千葉	長崎	山口	北海道	奈良	富山	埼玉
第31回	第32回	第33回	第34回	第35回	第36回	第37回	第38回	第39回	第40回
東京	大分	東京	愛媛	東京	東京	三重	東京	茨木	東京
第41回	第42回	第43回	第44回	第44回					
和歌山	東京	福島	中止	中止					

○令和4年度以降の全国大会の開催順

令和4年度 熊本大会 青年話創会 令和4年9月29日(木)予定

大会式典、記念パーティ等 令和4年9月30日(金)予定

令和5年度 鳥取大会

令和6年度 福井大会

■ 小規模建築部門・優秀賞

mother's+

竹中工務店北海道一級建築士事務所（札幌支部）



建設地：白老郡白老町

用途：農産加工品直売所

構造：木造 一部 鉄骨造

階数：地上2階

面積：敷地面積／16,351.99 m² 建築面積／891.02 m² 延床面積／887.71 m²

栄誉を称えて

本年度、以下のとおり、当協会の会員の方々がそれぞれ賞を受賞されました。この受賞は、受賞された方々がいずれも経営者として、また、業界の優れた指導者として、建築業界の発展や地域社会の振興に努力されてきたことが認められたもので、私たち会員にとって大変喜ばしいことです。受賞された皆様、誠におめでとうございます。

受賞された方々、受賞された賞などについては以下のとおりです。

○ 知事表彰

北海道産業貢献賞（建設関係功労者）

住宅都市行政全般にわたり長年業界の発展、行政の推進に努め、その功績が大きな個人又は団体（個人：不動産業、住宅産業又は都市整備に係る建設事業等に20年以上携わり、業務に精励し、他の模範となる者）

榎原 一夫 氏（紋別支部）

（一社）北海道建築士事務所協会理事（紋別支部長）
有限会社榎原測量設計事務所代表取締役



○ 日事連表彰

日事連年次功労者表彰

日事連又は単位会の運営若しくは事業の実施に関して著しい功績を挙げ、日事連の発展に寄与した者

瀬尾 友一 氏（後志支部）

（一社）北海道建築士事務所協会後志支部
瀬尾建設工業株式会社代表取締役会長



○ 協会表彰

永年勤続等表彰

本会の発展に特に功績・功労のあった者（役員及び支部役員として、通算20年以上在任した者）

中島 勉 氏（札幌支部）

（一社）北海道建築士事務所協会札幌支部
中島建築コンサルタント代表



奈良 顕子 氏（札幌支部）

（一社）北海道建築士事務所協会指導委員長
有限会社奈良建築環境設計室取締役室長



能戸 彰 氏（函館支部）

（一社）北海道建築士事務所協会副会長（函館支部長）
株式会社小南建築設計事務所代表取締役



松浦 淳一 氏（空知支部）

（一社）北海道建築士事務所協会空知支部監事
松浦建設株式会社代表取締役



技術レポート

建築紛争に巻き込まれない為に

業務・技術委員長、札幌地方裁判所民事調停委員 松田 真人

近年、建築の設計監理をめぐる紛争が増加しているように思われます。一旦、建築紛争に巻き込まれるとその解決のために多大な時間とエネルギーを割く必要が生じ、場合によっては事務所の存続を危うくする事にもなりかねません。

12年間、建築設計に関する建築紛争に民事調停委員としてかかわってきた立場から建築紛争に巻き込まれない為にどうしたら良いかを考察してみました。

■ 時代背景

1. 談合型社会から自由競争社会への変遷

従来（凡そ25-30年前以前）、建設を取り巻く業界環境は、お互いの信頼を基礎とした相互依存関係（悪く言えばもたれあい）により成り立っていました。従来型の環境では、何か設計上の問題が発生した場合は、施工者がこれをカバーするのが一般的でした。従来型では工事費に余裕があり、多少の変更でもこれを飲み込むことが出来ました。現在は、これがほとんどなくなり、厳しく設計上の責任と施工上の責任を区分けし、設計上の問題がある場合はこれが追及される様になっています。また、現場監理の場面で、施工者が設計上の問題に気が付いた場合でも、施工上の責任を問われない様に「設計図のとおりに作りました」という対応をするのが一般的になっています。今後さらにこの傾向が助長されると思われます。

2. 社会の経済効率化の追求とリスクの拡大

設計監理の業務の実行現場においても費用対効果が強く求められ、その結果余裕を持った設計がしにくくなり、トラブルの起こる可能性が増大しています。

3. 建築主の知識増大

ネットやスマホの普及により設計者と建築主の間の情報格差が減少し、建築主が設計の問題点を追求し易くなっています。また、ネット情報により、建材や空間の在り方について建築主がより多角的に注文を出しやすくなっています。

4. 社会的な事件が契機

耐震偽装事件は、上記の結果でもありますが、設計上の責任を追及する大きなきっかけになりました。



■ 紛争を避けるために、どうしたらよいか

1. 建築主の話をよく聞くこと

調停や裁判に持ち込まれる設計者と建築主の間のトラブルの多くにコミュニケーションミスがみられま

す。コミュニケーションがうまくいってれば、多少の問題があっても紛争迄至らないだろうと思われる案件が多くあります。

- ① 建築主のやりたいことを丁寧に聞くことが必要であり、往々にして設計者のやりたいことと建築主のやりたいことが食い違っています。設計者のやりたいことを優先するのではなく、まず建築主が何を望んでいるのかを把握するのが重要です。
- ② 建築主がネット情報等により断片的に建築専門知識を得ている場合が多くなっており、これを参考に設計成果を求められる場合があります。ネットに掲げられている情報にはそれぞれ敷地や気候条件等様々な前提条件の違いがあります。この違いについて、丁寧な説明をしないと、ボタンの掛け違いが不信感を生むきっかけとなります。

2. コストコントロールが重要であること

初めて、住宅や自分の施設を手掛ける建築主にとってやりたいことと、予算のギャップが大きい場合があります。これをうまく調整しなければ、見積もりが出た時点でこんなはずではなかったので契約を解除したいというトラブルになります。

- ① ネット等で得た断片的な知識をもとに建築主が大きな夢を持つ場合があります。基本プランがまとまった段階で、建築生産現場でのコスト情報に目を配りながら、見積もり徴取や類似案件を参考にして工事費概算を行います。こうして、コストターゲットを建築主と共有した上で実施設計に着手することが重要です。小規模な案件でも基本設計が重要です。昨今、ウッドショックや鉄骨ショックなどコストを取り巻く環境が日々刻々変化しており、柔軟な対応が必要です。
- ② 建築主の要望をそのまますべて反映した実施図を作成し、これをもとに見積もりを徴取した結果、予算を大幅に超過した場合には、設計事務所に対する不信感を増大させます。

3. 営業設計はできる限り避けること

兼業工務店においては、設計経費が全体の事業費の中で占める比率が小さい為に、値引きの営業ツールとして設計料をサービスしますという商慣習があります。この為、設計が進行して着工直前に建築が中止になり、設計料の支払いをめぐってトラブルになる場合があります。

また、専業事務所においても、委託の前段階で簡単なプランを提示して建築主が他と比較検討する場面があります。

- ① 兼業工務店においても、設計終了後の契約中止について明記する必要があります。具体的には、たとえば設計料がサービスであっても一定の設計業務が進んだ時点での途中解約については、設計料相当額の経費が発生するという説明をし、契約書に明記する必要があります。
- ② 専業の場合は、当初のラフプランを除いて、契約書は交わさなくても基本設計作業には経費が発生することを明確に建築主に伝え、了解を得て作業に入ることが重要です。

4. 設計・監理料の大幅な値引きは避けること

受注競争が厳しい場面でも、告示 98 号を大幅に下回る受注は避けるべきです。設計料をダンピングしても、設計図のキャドデータ化により、図面の体裁だけは、整えることが可能になっています。こうしたことから以下のような問題が発生します。

- ① まわりの状況を配慮しないコピペ図面により断熱不足、結露、雨漏りなど様々な不具合が発生する可能性があります。
- ② まわりの状況を配慮しないコピペ図面により、施工できない図面となり、着工後の大幅な設計変更が必要になり、建築主や施工者との間でトラブルになる可能性があります。
- ③ ダumpingして経営が厳しくなることにより社内の労務環境が悪化し、残業料の未払い等労務トラブルが発生する可能性があります。働き方改革により、中小零細企業である建築設計事務所にとっても労務環境の改善が強く求められています。



その為、きちんと設計料をいただき、これに伴った検討業務を行って、設計事務所としての責任を果たすことが重要です。

5. ムリな建て主の要求には抵抗する必要があること

経済至上主義の激化に伴い、問題となった耐震偽装はもとより、容積率や日影規制、材料の防火性能等の法規制についても偽装が起こる可能性があります。法不適合はどんなことがあっても避けなければなりません。また、これ以外に、明確に法規定がない部分についてコストダウンを求められる場合があります。

また、建築の情報化に起因して建築主からムリな要求がなされる場合があります。

建築士が負うべき責任については、建築士法により建築基準法を遵守する義務があり、これに違反した場合は、行政処分が科せられます。これとは別に民法上の債務不履行責任と「不法行為※」責任があります。建築紛争においてはこれらが問題になり、特に「不法行為」については社会的に広範な責任があり、免責時効期間も長期間となっています。

※不法行為：ある者が他人の権利ないし利益を違法に侵害する行為。またその場合に加害者に対して被害者の損害を賠償すべき義務を負わせていく法制度

- ① 建築主から法不適合を求められた場合は、どんなことがあっても抵抗する必要がある、建築主が納得しない場合は仕事をお断りするべきです。建築紛争となり、建築主から求められたとしても建築士が故意に違法行為を行った場合は、事務所の存続に影響します。
- ② 建築主から建物のコストダウンを求められた結果、例えば、外壁材の固定方法について、コスト上の理由から安易な工法を採用し、これが落下し、道を歩く第三者に危害を与えた場合は、設計者が責任を問われる可能性があります。こうした「不法行為」の原因となるムリな性能ダウンの要求について抵抗し、建築主を説得する必要があります。
- ③ コスト上の理由だけでなく、デザイン上の理由から必要な笠木を設けなかったり、伸縮目地をとらずに後で不具合が発生する場合があります。北海道独特の気象原因により、これが凍害を起こして落下する等「不法行為」となる場合には、設計者が責任を問われる可能性があります。専門家としての責任を建築主に対してのみならず、一般社会に対しても果たさなければなりません。

6. 積雪寒冷地の設計手法について最大限のアンテナを張り巡らせること

北海道には、積雪寒冷地独特な ①凍上凍害、②落雪、③断熱、結露、④室内環境の問題があります。これらの対処策については断片的な資料やマニュアルがあるものの一貫した教科書はありません。個々の設計者に経験的に蓄積されているのが実態です。設計技術者の高齢化に伴いこうした技術が伝承されずに、同じ

ような問題が再発する可能性があります。

こうしたことが起こらないように、危険が予測される場合は社内や社外の経験者や研究機関にアドバイスを求めるなど対処策を講じる必要があります。尚参考資料として、日本建築学会司法支援会議北海道支部：「積雪寒冷地の建築訴訟事例集」があります。

尚、こういった場面でこうしたことが問題になっているかの例は下記のとおりです。特に建築、設備、土木、製品性能の境界面で多くの問題が発生しています。

- ① 本州で開発された材料工法の北海道への不適切な導入、特に吸水性のある材料の外壁への使用については注意する必要があります。また、建材メーカーの技術スタッフが本州に偏在し、道内事情に疎い事にも注意する必要があります。
- ② 屋根面での積雪については屋根面の断熱性能や屋根の向き、季節風の風向等によりその状態が大きく異なってきます。必要に応じて外部のアドバイスをもらう必要があります。
- ③ 結露や温熱環境面でのトラブルは複合的な原因によります。結露については単に断熱材の厚さだけではなく、生活様式によって異なる室内水蒸気量や、壁面の透湿量により大きく異なってきます。自信がない場合は専門家の意見を求める必要があります。温熱環境面では、単に暖房設備の容量のみではなく、気流や換気設備との関連で暖かさの充足度が変わってきます。専門の設備設計者がいない場合は、特に注意が必要です。設備配管類の断熱仕様や配管ルート等についても北海道独特の方式があり注意が必要です。
- ④ 小規模建築物について、外構など異分野の設計に建築設計事務所が関わる場合が多くあります。地盤沈下や擁壁の凍害など思わぬトラブルに巻き込まれる可能性があります。凍結線、地面の水流の方向や積雪状態に配慮しながら、自信がない場合は専門家の意見を求める必要があります。

7. 改修工事には設計者を介在させること

兼業工務店等が行う改修やリフォーム工事において、設計図がなく見積もり書のみ（あるいは見積書もない場合もあります）で工事が始まるのが一般的となっています。当初の約束金額で満足のいく改修工事が行われれば問題ないのですが、往々にして工事費が膨らみ、建築主や施工者との間でトラブルになる場合が多くみられます。また、工事費のみではなく出来上りの結果に対して建築主が満足できない、こんなはずではなかったという事例が多くみられます。

トラブルの原因は改修の成果に対して物差しがない状態からスタートしていることにあります。この物差しとなるのが改修設計図であり、社内で設計するか、外注するかはともかく、設計者を工事に介在させ工事の目安を作ることがトラブル防止に有効です。設計者を改修工事に介在させることにより次のような効果が期待できます。

- ① 事前に調査を行うことにより見積書と最終工事費の差額を縮小できます。調査をもとにして設計を行う為に、現場の状況が事前調査と異なる場合は、変更の目安ができます。
- ② 設計図をもとにして、設計の出来上がりに対して建築主と施工者間の合意を作ることが出来ます。
- ③ 設計図と現場の状況を比較し、異なる場合の説明が容易になる為に、設計図なしで工事した場合のように工事費が増大してやむを得ず建築主からムリな値引きを強要されることがなくなります。
- ④ 設計事務所にとってもビジネスチャンスが増えます。

裁判所の判事さんの個人的感想でも、設計行為が介在していれば、かなりのトラブルが防止できるはずと指摘しています。

「ほっかいどう住宅フェア」の実施について

北海道では、令和3年5月17日に住宅関係団体で組織する「ほっかいどう安心住まいづくりネットワーク」を設立しました。これは、北海道における住まいづくりの課題が多岐に渡っていることから、各施策分野を包含した新たな組織として設立したもので、その事業の中には、住まいづくりに関わるイベント等の実施があり、ここで、今年度、「ほっかいどう住宅フェア2021」の開催が決定しました。

また、このイベントは、来年度（2022）、北海道で開催が予定されている、住生活月間中央イベントに向けたプレイベントでもあります。住生活月間中央イベントは、今年度は、10月に京都市で開催されましたが、その開催は、過去33回開催されており、来年度には、全国に向けて札幌市で開催される予定となっております。

こうした経緯があるものの、当協会への参加依頼があったのは、今年6月。予算も何も組んでいない状況の中、その参加について協会内部で検討した結果、札幌支部で行ってきた、「きらりと光る北の建築」展と、旭川支部、函館支部、札幌支部で行ってきた「お菓子の家づくり」コンクールをパネルにして展示することが決まりました。

しかし、コロナの感染者が増加したため、リアルイベントの開催は中止となり、完全オンラインイベントに切り替わりました。「YouTubeを使ったLIVE配信イベント」として、令和3年11月13日(土)13時30分から映像が配信されたのです。事前撮影は、令和3年10月3日(土)。朝の7時から展示ブースの設営が始まり、藤原広報委員長、設営責任者の宮房広報副委員長、札幌支部鈴木広報副委員長、札幌支部荘司広報委員、本部中川事務局長の6人が集まりました。撮影は宮房広報副委員長と鈴木札幌支部広報副委員長の二人が担当しました。今回は、YouTubeによる映像配信でしたが、人が訪れて、直接自分の目で見て感じることは、カメラの映像を通して見るのと違います。来年は、コロナが収束して、リアル展示が行えることを期待します。さて、来年の住生活月間イベントの展示をどのような内容にするか？多くの意見を待っています。



会報委員会での活動

札幌支部 坂田 淳（株式会社アクティ建築設計）

現在、私は会報委員会に所属させていただき2年目を向かえております。

昨年はコロナ禍の影響により全く活動が出来ておりませんでした。担当副支部長や委員長を始め、副委員長や他委員と会員皆様のご尽力により、BRWSE（札幌支部の会報誌）99号の発刊に至りました。前号が99号ということは、本年度は記念となるBRWSE100号の発刊年となります。

札幌支部の会報誌の歴史を少しだけ紐解くと、1978（昭和53）年7月に『支部会報』という名前で第1号が創刊され、様々な企画や創作物語の連載物、建築技術に対する考察や最新技術の紹介、紀行文、ひいては個人的な趣味嗜好の披露や、現在では掲載を躊躇される様な内容の読み物まで掲載されていました。そうしたバラエティ豊かな内容を引き継ぎつつ、何度かの刊行サイクル変更を行いながらも現在に至るとい、約43年間続いてきた会報誌です。

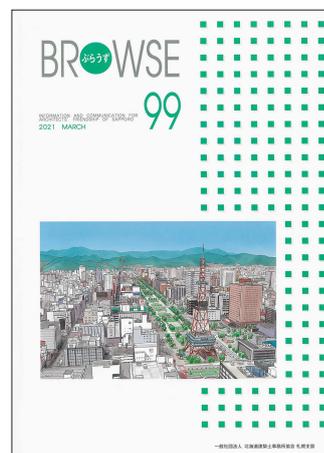
年度が替わり様々な制限がある中で私たちは委員会活動を再開し、掲載記事の素案の検討・立案を行っているのですが、本来は誌面を賑わす各委員会の活動報告やイベント毎の開催がま

まならぬ状況だったため、掲載の記事のネタが不足しているという問題点がありました。しかし、今回は100号の記念号という事もあり、特別企画特集などを組み掲載ページを調整することが出来ました。101号からまた、少しずつ日常を取り戻した形で活動報告が出来ることを願っております。

これまで発行された会報誌は札幌支部にて保管されております。ご興味のある方や調べ物がある方は、お立ち寄りの機会がありましたら閲覧されてみてはいかがでしょうか？ 思わぬ情報があるかもしれません。

代々続く会報誌は歴史を知ることが出来る貴重な資料であることを認識することが出来ました。また、その歴史を残す活動の一役として会報委員会に携われていることを私は嬉しく思っております。

最後になりますが、この場をお借りしてご案内させていただきます。BRWSEでは誌面への広告掲載のご協力も随時募っておりますので、ご希望の際は札幌支部会報委員会までご連絡を宜しくお願い致します。



歴史的建造物・古民家の有効活用

小樽支部長 廣谷 昭（株式会社 A&A リフォーム 代表取締役）

小樽には歴史的建造物や古民家が多くあり、その建物を有効に活用することがこれからの小樽にとって大変な課題になっています。

50年前は、新しい道路の整備・新しい建物を作る為に多くの木骨石造倉庫群や古民家を解体していました。このままでは、運河周辺の倉庫群がすべて無くなるという危機感に運河埋め立て反対の運動が始まりました。その運動のおかげで、完全な形では残りませんでしたが当初の計画より多くの建物を残す事が出来ました。新しい運河の整備が始まり周辺にある石造倉庫の活用が見られるようになってきました。その先駆者が北一硝子でした。あのような辺鄙な場所で商売が成り立つのだろうかと思う人が多かったのですが、石造り倉庫とランプの灯りが話題となり、北一硝子を見るために全国から観光客が訪れるようになり、北一硝子に行くための堺町の通りが今では、観光客のメイン通りになっています。運河沿いの倉庫では、アレフの小樽ビール・びっくりドンキーの進出で通りがおしゃれな空間になり多くの市民が訪れる場所になりました。

最近では、株式会社ニトリが数棟の建物を購入し、美術館としてあらたな価値観を持たせてくれました。改修工事でも歴史的建造物を生かした工法で工事を行い小樽市民として大変喜んでます。まだまだ小樽を生かした街づくりを続けていただけるようなので大いに期待しています。

小樽で建築関係の業務をする場合、古い民家・商家・倉庫等の改修に関する法律の問題を解決することが必要になる場合が多くあります。ほとんどが既存不適格の建築物なので、行政との問題と歴史的建造物の保護活動の問題を両立させることが大きな課題になって来ます。特に大規模な倉庫の改修工事では防火区画・排煙設備・スプリンクラー設備に多額の費用が掛かり意匠的にも多くの課題が発生します。特に木骨石造の場合、外壁の軟石が木構造部分とかすがいで繋がっているだけで何の補強もありませんが、現在に至るまでこの構造で地震にも耐えてきています。木骨石造倉庫を改修する場合、耐震補強をして良いのか、補強工事を行って剛性が増した時に外壁の軟石に問題が生じないのか等、まだ答えが出ていない事が多くあります。小樽支部の会員も、小樽の歴史的文化遺産をどのように残し活用するかを、多くの団体と協力し活用が広がるように頑張ります。



空知支部と岩見沢市の設計業界に思う

空知支部 金田 貴彦（株式会社金田設計 代表取締役）

私は、父が1974年に岩見沢市で創業した設計事務所を3年前に引き継いだ2代目でございますが、悶々とした日々を送っております。

今から約20年前の2002年5月に、岩見沢市に対して公正取引委員会が独占禁止法違反で調査に入って、官製談合が暴かれることになりました。一般に官製談合は、地元業者保護・育成を目的に行われることが多いのですが、当時の岩見沢市の場合は市の財政健全化のために低価格を建設業者に押し付けることで官製談合が機能していた側面があると言われていました。市職員は、汚職を働いたというよりは市役所のために清廉潔白な仕事をしていたとも言えますが、見方を変えれば民間業者に冷たい側面を持っていたとも言えるのです。

この談合問題から20年経った現在でも市職員は、談合問題に非常に過敏になっているので、民間業者にはさらに冷たくなっているような気がします。そして、発注は建設部から総務部に移管されていることもあるので、全く建築の職員が発注に係わることが出来なくなっていますし、関わろうともしておりません。そのような中でも、市内の建設業者はこの20年の間に立派に立ち直り、市内業者だけのオールJVで来年竣工予定の大型物件である市役所の建設工

を全て受注することが出来ています。

それに比べて、当市の設計業界は20年前の打撃から立ち直ることが出来なくて、相変わらず極小さな物件の設計や解体業務などを安値競争で受注しあっている状況です。当然、大型物件ばかりでなく中小型物件の入札にさえ参加できない状況が続いています。このままでは、中小物件の建物の実績も作ることが出来ないのので、他市町村の物件にも参加できません。お先が真っ暗な状況なので悶々とした日々を送らざるを得ないのです。

「どのようにしたら、中小の物件だけでも実績を作ることが出来るようになるのか」等を談合とは無縁な状況で市職員と気さくに話し合う場を設定できれば良いと思うのですが、どうすればよいのか分かりません。このような場の設定を支部の建築士事務所協会が設定することができればありがたいと思うのですが、岩見沢市に限ったこのような要望は空知支部では対応ができるのかどうか分かりませんがどうでしょうか？

普段から悩んでいたことや疑問に思っていたことを、この場を借りて勝手に記述させて頂きました。このような機会を与えていたことに感謝します有難うございました。



完成間近かな市役所

『市民に自然にやさしいスマート庁舎』

網走支部 山崎 聡（株式会社北斗建設 代表取締役）

2022年9月に着工予定、2024年10月供用開始予定の網走市新庁舎を紹介します。

網走市の現在の本庁舎は、昭和39年に建設され、築後56年、西庁舎は築後63年が経過し、平成25年の耐震改修促進法の改正により、耐震診断を実施したところ、耐震基準を満たしていないことが判明したことに加え、施設・設備の老朽化、窓口機能の分散、防災拠点機能の維持、バリアフリー化への対応など、さまざまな課題を抱えています。

「網走市新庁舎建設基本構想」に掲げる基本理念「市民に自然にやさしいスマート庁舎」と、その具体的な方向性を示す5つの基本方針に基づき、「網走市新庁舎建設基本設計」を作成しました。

■施設計画

基本方針1 人にやさしく市民に親しまれる庁舎

あらゆる人が利用しやすい窓口や交流・相談の場を設ける庁舎とします。

◆窓口機能の集約◆わかりやすいフロア構成◆プライバシーに配慮した窓口◆総合案内の配置◆みんなのトイレの設置◆おもいやり駐車場の設置

基本方針2 防災拠点となる庁舎

耐震性能を確保した災害に強い安全・安心な庁舎とします。

◆耐震安全性の確保◆災害対策本部機能の確保◆一時避難スペースの確保◆業務継続機能の確保◆重要設備を上層階に設置



1F 窓口・市民ロビー



北側 イベント鳥瞰パース

基本方針3 環境にやさしい庁舎

省エネルギー・再生可能エネルギーなどの推進や建設費から維持費までの生涯費用を低減させる庁舎とします。

◆ZEB Ready 庁舎の実現◆未利用エネルギー・再生可能エネルギーの活用◆熱負荷を低減する建物外装◆高効率な設備システム◆効率的な運用管理

基本方針4 まちづくりの拠点にふさわしい庁舎

地域の核となり、周辺の市街地形成や都市整備と一体となったまちづくりに寄与する庁舎とします。

◆人と人をつなぐ市民ホール◆まちと人をつなぐキャノピー◆活動と発信の窓

基本方針5 効率的で情報化に対応できる庁舎

ICT等を有効活用し、市民サービスの向上と事務の効率化を図り、高度なセキュリティ機能を有する庁舎とします。

◆ICTを活用した窓口◆デジタルサイネージの設置◆Free Wi-Fiの設置◆セキュリティライン等の確保

■建物概要

・建物用途：事務所（市庁舎） ・構造：鉄筋コンクリート造一部PC造 ・階数：地上5階建て（屋上あり） ・延床面積：6,399 m² ・敷地面積：4,803 m²

■フロア構成

市民が利用する窓口部門を低層階（1、2階）に集約し、内装材には網走産木材を使用するなど、親しみを感じられる仕上げとします。3、4階は行政事務エリアとし、5階には議会関連の諸室を設けます。身障者などの使用を想定する幅の広い駐車スペース「おもいやり駐車場」は、屋根付きとし、ロードヒーティングを設置します。

以上、網走市新庁舎基本設計に基づく施設計画を紹介させていただきます。



南側 外観パース

建築士事務所登録等事務の業務について

建築士又は建築士を使用する者は、他人の求めに応じ報酬を得て、次の業務を業として行おうとするときは、建築士事務所を定めて、その建築士事務所について、北海道知事が指定した指定事務所登録機関の登録を受けなければならない、その登録の有効期間は5年と定められています（建築士法第23条、第23条の2、第26条の4）。また、無登録業務は建築士法で禁止されており、違反した場合には罰則に処せられます（建築士法第23条の10、第38条）。

（建築士事務所の業務）

- 1 建築物の設計
- 2 建築物の工事監理
- 3 建築工事契約に関する事務
- 4 建築工事の指導監督
- 5 建築物に関する調査若しくは鑑定
- 6 建築物の建築に関する法令若しくは条例の規定に基づく手続きの代理

一般社団法人北海道建築士事務所協会では、平成2年4月1日より、北海道からの委託により、19支部が受付窓口となり、建築士事務所登録等事務の業務を実施してきましたが、改正建築士法（平成18年12月20日法律第114号）第26条の3第1項の規定に基づき、平成22年2月17日付け建指第2570号指令をもって北海道知事から指定事務所登録機関に指定され、平成22年4月1日から指定事務所登録機関としての業務を開始しました。

（指定事務所登録機関の業務）

- 1 業務内容
 - 建築士事務所の登録等事務
 - 登録簿及び所属建築士名簿の閲覧事務

- 2 業務の実施方法

事務所登録等の事務は、本部で行います。ただし、登録等の受付事務及び閲覧事務は、各支部で行うこととし、本部と19支部が専用パソコンによる回線で結ばれ、専用スキャナの活用により業務の厳正かつ公正な執行と迅速化を図ることとしています。

〔建築士事務所の登録の状況（令和3年9月30日）〕

		登録数	会員	会員以外
建築士事務所		4,218	1,007	3,211
一級・二級・木造別	一級	2,604	756	1,848
	二級	1,606	249	1,357
	木造	8	2	6
個人・法人別	個人	1,137	143	994
	法人	3,081	864	2,217
建築士事務所に属する建築士				
一級・二級・木造別	一級	4,158	1,735	2,423
	二級	4,220	1,231	2,989
	木造	23	8	15

設計等の業務に関する報告書に係る事務について

平成 19 年 6 月 20 日施行の改正建築士法により、建築士事務所の開設者は、毎事業年度経過後 3 カ月以内に、設計等の業務に関する報告書（業務報告書）を作成・提出することが義務付けられることになりました（改正建築士法第 23 条の 6）。この業務報告書は、一般の閲覧に供せられることとされており、当該建築士事務所がどのような業務の実績があるかを建築主や消費者に情報開示することを目的としています。なお、未提出又は虚偽の記載をした場合には、罰則が規定されており行政処分の対象にもなります（建築士法第 41 条第 1 項）。

（報告内容）

1 業務の実績

当該事業年度における当該建築士事務所の実績の概要

2 所属建築士名簿

当該建築士事務所に属する建築士の氏名、一級・二級・木造建築士の別及び構造一級・設備一級建築士の別、登録番号並びに定期講習受講歴、管理建築士はその旨

3 所属建築士の業務の実績 所属建築士ごとの当該事業年度における業務の実績（当該建築士事務所におけるものに限る）

4 管理建築士による意見の概要 建築士事務所の開設者に対して述べられた意見（技術的観点からその業務が円滑かつ適正に行われるようにするための意見）の概要

なお、設計等の業務に関する報告書に係る事務については、平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日までは、北海道からの委託事業として行い、平成 22 年 4 月 1 日以降は、北海道との協定により当協会が指定事務所登録機関として実施しています。北海道との協定では、次の業務を行っています（業務経費については、建築士事務所登録手数料より支出）。

（指定事務所登録機関の業務）

- 1 設計等の業務に関する報告書の受付、内容確認、総合振興局・振興局への進達（各支部）
- 2 建築行政共用データベースシステム（建築士・事務所登録閲覧システム）への入力（本部）
- 3 未提出の建築士事務所への文書による督促（本部）
- 4 設計等の業務に関する報告書の閲覧（各支部）

〔設計等の業務報告書の提出状況〕

	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 3 年 3 月 31 日	令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 3 年 9 月 30 日
建築士事務所数	4,261	4,218
業務報告書受付件数	3,676	2,337
提出率	86.2%	55.6%
業務報告書督促件数	1,957	1,621
督促率	46.0%	38.4%

建築士定期講習

平成 17 年 11 月に建築物の構造計算偽装事件をはじめ相次いで発覚した類似の事件によって失われた建築物の安全性と建築士制度に関する国民の信頼を回復するために、平成 18 年に建築基準法と建築士法がそれぞれ改正されました。このうち、「建築士の資質・能力の向上」、「高度な専門能力をもつ建築士による設計[構造設計・設備設計]」、「設計・工事監理業務の適正化と消費者への情報開示」等を目的とする平成 18 年 12 月改正建築士法は、平成 20 年 11 月 28 日に施行され、建築士を対象とした各種講習制度が創設されました。このことにより、設計・工事監理等の業務を「業」として行う建築士は、業務を実施するのに必要な能力を確実に身につけておく必要があることから、建築士事務所に所属している一級建築士、二級建築士又は木造建築士には、3 年ごとに定期講習を受講することが義務付けられ、受講しなかった場合には、戒告または 2 カ月間の業務停止処分の対象となりました（建築士法第 10 条第 1 項第 1 号、第 22 条の 2）。

なお、講習は、建築士法に基づき、登録講習機関である「公益財団法人建築技術教育普及センター」の実施協力機関として当協会及び一般社団法人北海道建築士会が実施しております。

今年度定期講習は、6 月 4 日開催の北見市が中止になりましたが、5 月 28 日(金)の札幌市から皮切りに、全道 8 市 31 会場で開催されました。

また、6 月 25 日からは、動画配信による申込受付を開始しました。

動画方式は講習（講義+修了考査）の「講義」を自宅等で動画を視聴し「修了考査」は、会場で受ける必要があります。

本年度は、1（講義+修了考査）・2（修了考査）の、2 方式にて実施しました。

[建築士定期講習の受講者数]

開催地	開催月日	開催会場	受講者数
札幌市	5月28日(金)	北海道第二水産ビル	106
	6月15日(火)	北海道自治労会館	60
	7月16日(金)	北海道第二水産ビル	115
	9月2日(木)	北海道自治労会館	31
	10月12日(火)	北海道第二水産ビル	103 (動画方式) 1
	11月26日(金)	北海道自治労会館	53 (動画方式) 4
函館市 (北斗市)	6月8日(火)	北斗市総合文化センター かなで〜る	59
	7月27日(火)	北斗市総合文化センター かなで〜る	41
旭川市	6月22日(火)	旭川勤労者福祉会館	45
北見市	7月30日(金)	北見市端野町公民館	40
	9月15日(水)	北見プラザホテル	41
室蘭市	7月8日(木)	室蘭市市民会館	28
苫小牧市	7月2日(金)	苫小牧市労働福祉センター	45
帯広市	7月6日(火)	とち館	44
	9月7日(火)	とち館	45
釧路市	6月4日(金)	釧路センチュリーキャッスルホテル	46
	9月3日(金)	釧路センチュリーキャッスルホテル	24
合計 (動画方式)			926(5)

[建築士定期講習の動画方式受講者数]

開催地	開催月日	開催会場	受講者数
札幌市	8月26日(木)	大五ビル2階会議室	14 (3回開催)
函館市 (北斗市)	9月8日(水)	北斗市総合文化センター かなで〜る	6 (2回開催)
旭川市	10月7日(木)	旭川勤労者福祉会館	4 (1回開催)
北見市	9月6日(月)	北見プラザホテル	3 (1回開催)
室蘭市	8月26日(木)	室蘭市市民会館	2 (2回開催)
苫小牧市	9月10日(金)	苫小牧市労働福祉センター	4 (2回開催)
帯広市	9月7日(火)	とち館	3 (1回開催)
釧路市	9月3日(金)	釧路センチュリーキャッスルホテル	6 (2回開催)
合計			42

管理建築士講習

管理建築士は、建築士事務所の業務に係る技術的な事項を総括する立場にあります。従前は、建築士であれば誰でもなることができましたが、平成 17 年 11 月に起きた建築物の構造計算偽装事件をはじめ相次いで発覚した類似の事件により、平成 20 年 11 月 28 日に改正建築士法が施行され、建築士事務所を管理する建築士（管理建築士）の要件が強化されました。この改正により、管理建築士となるには、建築士として 3 年以上の設計その他国土交通省令で定める業務に従事した後、国土交通大臣の登録を受けた登録講習機関が行う「管理建築士講習の課程を修了することとされました。

この講習は、当協会が、建築士法に基づく登録講習機関である公益財団法人建築技術教育普及センターの実施協力機関として、平成 20 年度は「管理建築士資格取得講習」、平成 21 年度からは「管理建築士講習」として実施しています。講習内容は、「建築士法その他関係法令に関する科目」及び「建築物の品質確保に関する科目」で、テキストを使用した講義と修了考査となっています。

本年度 4 月より、新型コロナウイルス感染症などへの対策として、会場での講義を自宅等での動画視聴に変更出来るようになりました。（修了考査は、従来通り会場で受ける必要があります。）

当協会では、5 月開催より修了考査のみ実施しています。

本年度は、札幌市で 7 回開催しました。

[管理建築士講習の受講者数]

開催地	開催月日	開催会場	受講者数
札幌市	1 月 14 日(木)	大五ビル 2 階会議室	9
	2 月 5 日(金)	大五ビル 2 階会議室	9
	5 月 12 日(水)	事務所協会会議室	4
	7 月 7 日(水)	大五ビル 2 階会議室	13
	9 月 8 日(水)	大五ビル 2 階会議室	8
	11 月 4 日(木)	大五ビル 2 階会議室	14
	12 月 1 日(水)	大五ビル 2 階会議室	13
合 計			70

適合証明技術者講習及び既存住宅現況検査技術者講習

「適合証明技術者」制度

この制度は、住宅金融支援機構の指定した登録機関に登録した建築士事務所に所属する建築士（適合証明技術者）が、フラット35（中古住宅）、財形住宅金融（リ・ユース住宅）及びリフォーム融資を利用予定の希望者等の依頼に基づき、書類審査及び現地調査を行い、住宅金融支援機構の定める技術基準への適合性を確認する業務で、物件検査の結果、融資利用予定の住宅が技術基準に適合する場合には、融資希望者に対して「適合証明書」が交付される。

「既存住宅現況検査技術者」制度

この制度は、平成29年2月に創設された既存住宅状況調査技術者講習制度による新しい技術者資格です。宅地建物取引業法の改正により、平成30年4月より、中古住宅の売買の際に行われる重要事項説明に、既存住宅状況調査を実施している場合にはその結果について説明することが義務づけられました。この調査を行うことができるのは、既存住宅状況調査技術者の資格を持つ者のみとなっており、従来のインスペクターの資格では行うことができません。

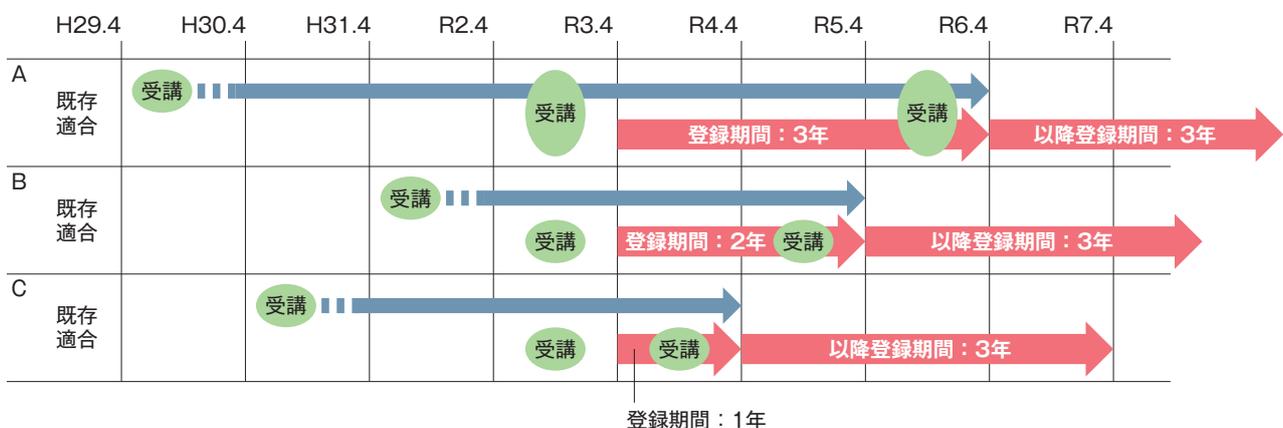
「適合技術者講習」及び「既存住宅現況検査技術者講習」の同時開催

令和2年度より「既存住宅状況調査技術者」であることが、適合証明技術者の登録要件となり、既存住宅現況調査と住宅支援機構のフラット35（中古住宅）等の調査のワンストップ化を図ることとしました。

既存住宅現況調査技術者の登録要件化に伴い、適合証明技術者の登録有効期間を既存住宅状況調査技術者の有効期限に合わせます。

また、3年に一度の更新登録以外は、オンライン講習も実施することとしました。

3月31日が、有効期間な事から、令和2年度登録と令和3年登録という状況が今後は生じる。



〔適合証明技術者講習及び既存住宅状況調査技術者講習〕

(1) 適合証明技術者業務登録講習

開催日	会場	受講者数	備考
令和3年1月18日(月)	北海道自治労会館	19	(令和2年度登録分)
令和3年1月18日(月)～ 令和3年1月25日(月)	オンライン講習	21	(令和2年度登録分)
令和3年9月14日(火)	北農健保会館	5	(令和3年度登録分)
令和3年9月30日(木)～ 令和3年10月12日(火)	オンライン講習	7	(令和3年度登録分)
令和3年12月2日(木)～ 令和3年12月14日(火)	オンライン講習	4	(令和3年度登録分)
合 計		56	

(2) 既存住宅状況調査技術者登録講習（更新講習）

開催日	会場	受講者数	備考
令和2年12月24日(木)～ 令和3年1月15日(金)	オンライン講習	4	(令和2年度登録分)
令和3年1月18日(月)	北海道自治労会館	15	(令和2年度登録分)
令和3年2月6日(土)～ 令和3年2月26日(金)	オンライン講習	9	(令和2年度登録分)
令和3年9月14日(火)	北農健保会館	2	(令和3年度登録分)
令和3年9月1日(水)～ 令和3年9月21日(火)	オンライン講習	8	(令和3年度登録分)
合 計		38	

(3) 既存住宅状況調査技術者登録講習（新規講習）

開催日	会場	受講者数	備考
令和2年12月24日(木)～ 令和3年1月15日(金)	オンライン講習	2	(令和2年度登録分)
令和3年11月1日(月)～ 令和3年11月21日(日)	オンライン講習	1	(令和3年度登録分)
合 計		3	

震災復旧のための震災建築物の被災度区分判定基準および 復旧技術指針講習会

建築物の震災後対策としては、地震発生直後に、余震等による建築物の倒壊及び部材の落下等による二次災害から住民の安全を確保するために建築物への立ち入りの可否等を判定する「応急危険度判定」と、応急危険度判定が実施された後等に震災建築物の復旧を目的として震災建築物の主として構造躯体に関する被災度区分判定を行い継続使用するための復旧の要否を判定するための「被災度区分判定」があります。

応急危険度判定については、平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災において我が国で初めて本格的に実施され、その有益性の認識と経験を踏まえ、その後都道府県において応急危険度判定士の養成登録が行われるとともに、応急危険度判定を迅速かつ的確に実施するための全国組織として全国被災建築物応急危険度判定協議会が平成8年4月に設立されるなど体制の整備がなされています。

一方、応急危険度判定実施後等に、住宅相談も含め震災建築物の復旧のために必要な被災度区分判定の実施に関する体制の構築も急務の課題となっており、当協会では、平成17年度より被災度区分判定及び復旧業務を行うことができる建築士を育成することを目的に講習会を実施してきました。なお、講習会の受講修了者で希望する建築士に対し、一般財団法人日本建築防災協会より技術者証が発行され、さらにその建築士を有する建築士事務所で、希望する建築士事務所を対象に建築士事務所名簿を作成し日本建築防災協会及び日本建築士事務所連合会のホームページに掲載し、震災後対策として住宅相談や被災度区分判定等の活動が必要となった際の建築士事務所（建築士）の検索、協力要請等の資料として活用に供することとしています。平成23年3月に発生した東日本大震災、また、平成30年4月に発生した熊本地震など、近年、大きな地震が相次いで発生しており、さらには、首都直下地震や南海トラフ地震などの大規模な発生が危険視されているが、平成30年9月の北海道胆振東部を震源とする地震が、この北海道でも発生し、41名もの尊い命が失われる事態となり、この講習の必要性は、益々高まっています。

なお、この講習は、5年毎の更新ですが、昨年度は更新者がいなかったことと、コロナ禍により中止といたしましたが、本年度もコロナ禍により（一財）日本建築防災協会にて実施するWEB講習を受講申込いただくように、更新予定者にFAXにて通知しました。

開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会

平成 18 年 12 月に改正公布された改正建築士法のうち建築士事務所協会及び建築士事務所協会連合会の法定化に係る規定（第 7 章・第 27 条の 2 から 5）が平成 21 年 1 月 5 日に施行され、当協会は、建築士事務所業務の適正化と建築主の利益保護を担う団体として法律に位置づけられた所謂法定団体となりました。

この研修は、それまでの「建築士事務所の管理講習会・開設者研修会」に替え、建築士法に規定された法定団体である一般社団法人北海道建築士事務所協会及び一般社団法人日本建築士事務所協会連合会が、建築士法第 27 条の 2 第 7 項に基づく研修として実施したものです。

研修は、平成 25 年から実施していますが、建築士法の定めに基づくほか、北海道知事からの受講奨励の文書を発行してもらうほか、講師の派遣も受けて実施しています。また、研修は、建築士事務所の管理・運営を適切に進める上で把握しておくべき重要事項を網羅した内容となっており、5 年ごとの事務所登録更新の機会にあわせて受講することで、開設者、管理建築士の資質の維持向上を図り、業務委託者の期待に応えるべく業務の適正化や建築物の質の向上等を目指すことを目的としています。

昨年度は、コロナ禍により札幌市のみ開催しましたが、本年度は 2 年ぶりに全道で開催しました。

本年度の研修会は、10 月 13 日(水)北見市を皮切りに全道 6 市 6 会場で開催しました。

[開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会]

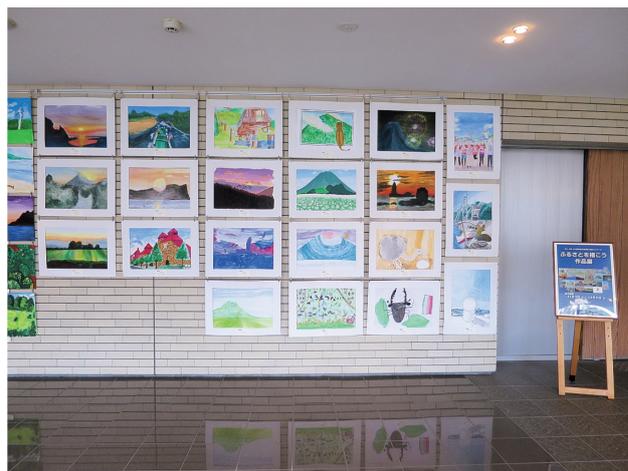
開催地	開催時期	開催場所	受講者数
北見市	10月13日(水)	北見市民会館	6
釧路市	10月15日(金)	釧路市センチュリーキャッスルホテル	11
苫小牧市	10月20日(水)	苫小牧市労働福祉センター	10
旭川市	10月21日(木)	旭川市勤労者福社会館	24
函館市 (北斗市)	11月16日(火)	北斗市総合文化センター かなで〜る	22
札幌市	11月18日(木)	北海道自治労会館	87
合 計			160

建築士事務所キャンペーンについて

当協会及び建築士事務所の存在と活動を広く一般の方々に知っていただくため、毎年度、各支部主催で多彩な事業を行っている。昨年よりコロナ禍により多くのキャンペーン事業が中止されました。

本年度の「建築士事務所キャンペーン」事業は、2支部のみ実施されました。

支部名	行 事 名	開 催 日	参加者数
後志支部	「第14回ふるさとを描こう」絵画コンクール	7月16日(金)～ 12月5日(日)	134作品
小樽支部	小樽未来創造高校生徒への歴史的建造物についての出前授業	10月20日(水)	26



後志支部
「第14回 ふるさとを描こう」絵画コンクール



小樽支部
「小樽未来創造高校生徒への歴史的建造物についての出前事業」

令和3年度 委員会開催状況

当協会には、8つの委員会が設置されています。それぞれの委員会は、全道各支部から委員が参集し、協会運営についての様々な課題を検討するとともに「社会」「建築業会」「会員」に役立つ一般社団法人北海道建築士事務所協会であることを目指しています。

委員会名	開催日	議 題
総務委員会	① 2月8日(月) (WEB会議) ② 3月15日(月) (書面会議) ③ 4月13日(火) (WEB会議) ④ 6月4日(金) (WEB会議) ⑤ 7月12日(月) (WEB会議) ⑥ 12月13日(月) (WEB会議)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度定時総会提出議案の事前審査 (理事会提出議案審査) ・令和3年度予算の執行保留 ・創立70周年記念事業について ・設計会館の進捗状況 ・令和3年度予算執行に係る提案 ・令和3年度日事連建築賞第1次審査 ・令和3年度日事連年次功労者表彰候補者の決定 ・事務局職員賞与額の査定 ・令和3年度第3回理事会(書面会議)提出議案の事前審査 ・事務局職員賞与額の査定 ・令和3年度第5回理事会提出議案の事前審査
業務・技術委員会	① 5月7日(金) (書面会議) ② 8月2日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・「北の住まい」住宅設計コンペの実施方法 〈設計競技専門委員会及び設計競技審査委員会〉 ・第46回「北の住まい」住宅設計コンペのスケジュール及び募集要項の決定
広報委員会	① 3月15日(月) (WEB会議) ② 8月2日(月) (WEB会議)	<ul style="list-style-type: none"> ・会誌「hiroba(ひろば)」の発行について ・日事連会誌「日事連のWEB配信」 ・広報委員会の業務 ・会誌「hiroba(ひろば)」の発行について ・ほっかいどう住宅フェアの参加
教育・情報委員会	① 8月23日(月) (書面会議)	<ul style="list-style-type: none"> ・開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会について
指導委員会	開催なし	
IT委員会	開催なし	
青年委員会	① 7月29日(木) (WEB会議)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度北海道東北ブロック青年部会の開催結果 ・青年話創会2021熊本大会の参加について
倫理委員会	開催なし	

行政等への要望活動

当協会では、建築士事務所の健全な発展と建築文化の向上を図るため、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会（略称「日事連」）との連名で、これまで、北海道開発局営繕部長、北海道建設部建築企画監、札幌市都市局長へ当協会単独の要望書と併せて提出してきました。しかし、今年度は、昨年に引き続きコロナ禍の収束が見られないことから、北海道開発局への要望以外は、北海道、札幌市、その他全道市町村とも要望書を郵送することとしました。なお、自民党北海道支部連合会との「団体要望懇談会」には参加し、建築士事務所の現状や当協会からの要望などについて意見交換を行いました。

1 北海道開発局への要望

要 望 日 令和3年8月26日(木)

出 席 者 (相手方) 北海道開発局営繕部長ほか
(協 会) 庄司会長、柳館副会長、中川事務局長

要望項目 下記のとおり

2 北海道、札幌市、その他全道市町村への要望

郵 送 日 令和3年8月26日(木)から発送

要望項目 下記のとおり

【共同要望項目】

- ① 建築物の設計・工事監理業務及び耐震診断・耐震改修に係る業務の発注に際しては、建築士法の規定に基づき、国土交通大臣が定めた業務報酬基準（告示98号及び告示670号）に準拠のうえ、「官庁施設の設計業務等積算基準・要領・運用」にならい、業務委託内容を明確化した発注を行い、追加的な業務が発生した場合は適正な経費の積み上げがなされるよう強く要望します。
- ② 建築物の設計・工事監理業務の設計者選定に際しては、品確法等の趣旨に則り、建築物の規模や特性等に応じ技術的能力、提案内容などを参考に、入札方式によらず、プロポーザル方式、設計競技方式、資質評価方式などを採用し、その際価格による評価をしないよう、もしくはその比重を極力抑えるよう要望いたします。
やむを得ず価格競争による入札方式で設計者の選定をする場合は、適正な価格による「最低制限価格」の設定・引上げ、もしくは「低入札価格調査基準」を設定していただくよう強く要望いたします。
- ③ 建築物の設計・工事監理業務の設計者選定に際しては、消費者保護の観点からも建築士事務所への賠償責任保険への加入にご配慮いただくよう要望いたします。
- ④ 建築物の設計・工事監理業務の設計者選定に際しては、プロポーザル方式や総合評価方式等における評価基準として、品質確保の観点から、「建築 CPD 情報提供制度」（事務局：（公財）建築技術教育普及センター）の実績を活用していただくよう要望いたします。

【北海道単独要望】

（北海道）最低制限価格の設定範囲を予定価格の90%以上に引き上げていただきたい。

（札幌市）上記に同じ

3 自由民主党北海道支部連合会との懇談

日 時 令和3年10月14日(木)10:00～

場 所 北海道議会4F「自民党大会議室」

出席者 (相手方) 自民党道連松浦政務調査会長ほか

(協会) 庄司会長、柳館副会長、川幡副会長、松田業務・技術委員長
中川事務局長

【自民党への要望】

① 業務量の確保と事業の平準化

建築設計業の持続的な発展が図られるよう、安定的な公共工事業量及び設計委託事業量確保するとともに、働き方改革が求められる今日、所員の労働環境を改善するためにも事業量の平準化に取り組んでいただきたい。

また、コロナ禍が終息していない状況が続き、建築需要の減少が予想されることから、公共事業量の確保にお一層の配慮をしていただきたい。

② 業務委託費の予算措置

設計・監理業務の委託発注において、受注事業者が施設所在地の事務所に限らない実態を考慮し、以下のとおり取扱っていただきたい。

ア 移動に要する人件費は、諸経費及び技術料等経費の算定対象とする。

イ 施設所在地から離れた事業者が受注する可能性があるときは、当該施設から最も離れた地点で、経費を算定する。

③ 管理研修会の受講と建築士事務所登録

建築士法第27条の2第7項で規定されている『開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会』は、その内容が建築士事務所にとって有益な研修会であることから、受講を建築士建築士事務所登録（更新を含む。）の要件としていただきたい。



北海道開発局共同要望



自民党団体要望



自民党団体要望

「北海道の建築と光」

内藤 誠人

北海道大学大学院工学研究院助教

この4月に生まれ育った東京を離れて札幌に移り北海道大学に赴任した。旅行や学会などで夏場に数回訪れたことがあるだけで縁もゆかりもない土地である。さらに、本州と異なる積雪寒冷地に対応した建築技術が独自に発展してきた北海道に活動拠点を移すことには建築意匠研究及び設計に携わる者としての不安もあった。その一方で、これまで研究対象として関心を寄せてきたトップライトを中心とした昼光照明デザインは特に北海道のような太陽高度の低い高緯度地域において効果を発揮するだろうし、軒下空間やテラスなどによって外部空間が内部へ連続するようなグラデーショナルな中間領域とは異なる、トップライトが可能にする空間の中央につくられる外部のような内部空間のあり方も、厳しい冬の寒さに閉ざされる北海道のような気候の下で様々な展開が可能なのではないかという期待もあって北海道への移住を決めた。そういった研究的関心から、第41回目を迎える北海道建築作品発表会に集まった多くの良作の中でも自然光が建築の質を決定づけていると思われるいくつかの作品を概観したい。

ハイサイドライトの平屋（山之内建築研究所）では、室内の内部化の手法として家の中心を満た

す光を採り入れるハイサイドライトが、明るさのみならずコンクリートブロックによる蓄熱の熱源としても効果的に機能し家族が集まる場を演出している。

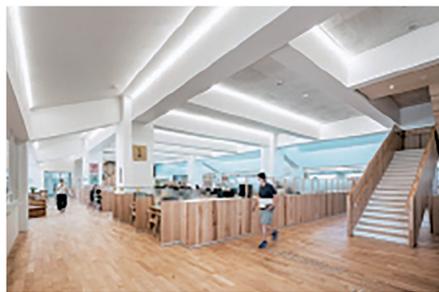
ニセコ町役場庁舎（アトリエブंक）では、アトリエブंकらしいヴォリュームの構成を踏襲しながら、1階屋根の積雪対策と2階窓からの眺望を確保しながら1階屋根に巧みにトップライトを設けることで自然光が届きにくい1階の中央部への採光を可能にしている。

伏古の屋根裏（空間工作所）では、築50年（35年程前に増築）の無落雪型住宅の2階部分の減築により生まれた招き屋根が家並みの中で新たな景観を創出するとともに、段違い部分に設けられたハイサイドライトからの光が35年間暗がりに追いやられていた室内を照らし、現しになった軸組が積み重ねてきた時間を演出している。

リノベーション2題：福井のR壁（高木貴間建築設計事務所）では、吹き抜けによってハイサイドライトに変化した側窓からの自然光がR壁を伝って下階に拡散され、南側の直射光によって明るく活動的に設えられた広間と北側の地窓からの落ち着いた光によって照らされた小間という性格の異なる両者を緩やかに繋ぐ中間領域となっ



ハイサイドライトの平屋



ニセコ町役場庁舎



伏古の屋根裏



福井のR壁



厚真の家



O project

て空間に奥行きを与えている。

厚真の家（照井康穂建築設計事務所）は、全体を統合する片流れ屋根の下に、それぞれの室の天井高さ、開口の大きさと位置、室内や軒天の仕上げが巧みにデザインされ、屋内が周囲の森の多様な光環境の連続のように感じられるものになっている。

O project（宮城島崇人建築設計事務所）は、隣接する開放的な公園と北海道に多くみられる2×4住宅の閉鎖的な室内空間の間に、スケールや光環境的に中間的なスケールを有する開放的な空間を挿入することで、外部空間がグラデーショナルに内部空間に連続する半外部空間とは異なる対比的なつくり方で室内に屋外的な空間を獲得している興味深い作品である。

この他にも紹介したい作品ばかりであるが、北海道らしい自然光が要素となつてつくられる外部のような内部空間を有する作品に絞って紹介させて頂いた。これらは米田先生（北海学園大学）が

述べられる「第3の空間」*1の一つの指向性の延長線上に位置するものであるように思われる。

最後になるが、第40回目の記念回であった昨年度は、対面方式の発表会がコロナ禍により中止されたことは大変残念であるが、過去39回を振り返った座談会の記録や座談会資料として作成・分析されたデータは、これまでの作品発表会を知らない私のような者にとっても北海道の建築作品の潮流を知ることのできる有意義な資料となり感謝したい。このような作品を分析し考察・批評することは特に大学の意匠系研究室の役割と思われるが、全国の先駆けである本発表会を設立された太田實先生が意図された「建築を文化的な枠組みの中で考える」土壌を耕す一員としてこれから貢献していきたい所存である。

参考文献

- 1) 北海道建築士事務所協会「ひろば」2019.12より転載

新入会員の紹介（令和2年12月～令和3年11月）

支部名	名 称	代表者又は開設者	所 在 地	電 話	FAX
札幌	(株)グランヴェール	西山 繁治	〒060-0042 札幌市中央区大通西15丁目2番地8	011-631-1700	011-631-4800
札幌	三愛地所(株)	大畑 裕義	〒065-0032 札幌市東区北32条東7丁目1番15号	011-721-6226	011-721-0600
札幌	(株)ライフ・グリーン ・ホーム	青木 貴史	〒066-0078 千歳市勇舞4丁目4番22号	0123-38-8895	—
札幌	(有)イーハウスナリタ	米沢 敏一	〒065-0041 札幌市東区本町1条3丁目5番6号	011-781-0080	011-781-2528
札幌	ノムアーキテクト	野村 和也	〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条2丁目9-20	090-2696-5862	—
札幌	藤建設工業(株)	工藤 喜作	〒003-0021 札幌市白石区栄通15丁目8番6号	011-855-8181	011-855-8226
札幌	(株)石塚工務店	江口 巧	〒007-0834 札幌市東区北34条東9丁目1番1号	011-776-6411	011-776-6955
札幌	(株)ベルン	高橋 博哉	〒003-0002 札幌市白石区東札幌2条5丁目8番26号 3DコートアネックスG号室	011-374-5295	011-595-8733
札幌	(株)住みか&renoko	千住 昭人	〒002-8021 札幌市北区篠路1条6丁目7番6号	011-774-6929	011-774-6929
札幌	(株)Design du Koh	紺野 将	〒060-0004 札幌市中央区北4条西16丁目1番地 テルウェル札幌第1ビル2F	011-688-7202	011-807-4416
札幌	(株)オーテック	大戸 正勝	〒067-0003 江別市緑町東3丁目54番地の2	011-385-7163	011-802-5932
函館	合同会社富樫雅行 建築設計事務所	富樫 雅行	〒040-0056 函館市弥生町19番8号	0138-84-5025	0138-87-1006
函館	(株)かわしる 建築設計事務所	川代 則安	〒041-0806 函館市美原4丁目27番4号	0138-46-1086	0138-46-1389
函館	(株)プレジャーホーム	辺見 寿了	〒041-0852 函館市鍛冶1丁目25番29号	0138-76-7115	0138-76-3051
函館	小暮建築 総合設計研究所	小暮 喜由	〒041-1404 茅部郡鹿部町字本別530番地67	01372-7-7760	01372-7-7760
桧山	(有)石田建設 二級建築設計事務所	石田 貞雄	〒043-1104 桧山郡厚沢部町字上里68番地7	0139-67-2630	0139-67-2630
旭川	(株)有我工業所 一級建築士事務所	有我 充人	〒071-0543 空知郡上富良野町中町3丁目2番1号	0167-45-2615	0167-45-3212
旭川	(株)N工作舎	軽部 望	〒070-0875 旭川市春光5条3丁目7番17号	0166-53-3780	0166-53-3780
留萌	(株)丸力笠井商店	笠井 裕司	〒077-0007 留萌市栄町2丁目2番10号	0164-42-1385	0164-43-8920
日高	アーキレックス 一級建築士事務所	川上 康德	〒059-3107 日高郡新ひだか町三石旭町49番地の11	0146-32-3730	0146-32-3730
釧路	(株)WORLD	橋川 昌弘	〒085-0033 釧路市若松町16番16号	0154-65-8656	0154-65-8651
釧路	(株)リアライズ	落合 淳也	〒085-0061 釧路市芦野2丁目9番11号	0154-64-9051	0154-64-9058
釧路	佐藤設計事務所	佐藤 幸雄	〒085-0813 釧路市春採4丁目4番8号	0154-65-7090	—
釧路	北海ハウス(株)	大津 幸三	〒085-0021 釧路市浪花町8丁目4番地2	0154-37-0711	0154-37-0713

令和3年度 一般社団法人北海道建築士事務所協会 名簿

役員

役職名	氏名	所属
会長	庄司 雅美	(株)ホクテイ建築事務所
副会長	柳館 直人	(株)ドーコン
〃	川幡 宏一	(株)総合開発設計
〃	中田 信広	(株)中田建築設計
〃	能戸 彰	(株)小南建築設計事務所
〃	重綱 博美	(株)Fan 建築設計
〃	三浦 啓	三浦建築設計事務所
〃	笹木 勇一	(株)清和設計事務所
専務理事	中川 國義	(一社)北海道建築士事務所協会
理事	久保田克己	(株)北海道日建設計
〃	相良 敬治	(株)さがら設計事務所
〃	中原 隆一	(株)札幌日総建
〃	奈良 顕子	(有)奈良建築環境設計室
〃	藤原 昇悟	(株)中山設計事務所
〃	松田 真人	(株)都市設計研究所
〃	三栖 博	(株)アトリエブク
〃	大古 正平	(有)オオフル建築設計事務所

役職名	氏名	所属
理事	榊 政信	北の杜合同会社建築設計事務所
〃	廣谷 昭	(株)A & Aリフォーム
〃	大野真一郎	大野土建(株)
〃	原田 欣典	興北建設(株)
〃	阿部 裕	(有)阿部設計事務所
〃	土屋善治郎	土屋工業(株)
〃	栗原 一夫	(有)栗原測量設計事務所
〃	菅 俊治	(株)菅設計企画
〃	本田不二夫	(有)本田建築事務所
〃	木原 宗孝	エーシー企画
〃	太田 豊	(株)創造設計舎
〃	神田 光英	(株)神田設計
〃	高橋 正明	(有)タカ・アーキテック一級建築士事務所
〃	志田 純司	第一宅建設計(株)
監事	福本 雅之	(株)福本構造設計
〃	鈴木 敏則	マルヒデ鈴木建設(株)二級建築士事務所
〃	小寺 正史	弁護士法人小寺・松田法律事務所

支部長

支部名	氏名	所属
札幌	柳館 直人	(株)ドーコン
函館	能戸 彰	(株)小南建築設計事務所
桧山	大古 正平	(有)オオフル建築設計事務所
後志	榊 政信	北の杜合同会社建築設計事務所
小樽	廣谷 昭	(株)A & Aリフォーム
空知	中田 信広	(株)中田建築設計
旭川	重綱 博美	(株)Fan 建築設計
名寄	大野真一郎	大野土建(株)
留萌	原田 欣典	興北建設(株)
宗谷	阿部 裕	(有)阿部設計事務所

支部名	氏名	所属
網走	土屋善治郎	土屋工業(株)
北見	笹木 勇一	(株)清和設計事務所
紋別	栗原 一夫	(有)栗原測量設計事務所
室蘭	菅 俊治	(株)菅設計企画
苫小牧	本田不二夫	(有)本田建築事務所
日高	木原 宗孝	エーシー企画
十勝	太田 豊	(株)創造設計舎
釧路	三浦 啓	三浦建築設計事務所
根室	志田 純司	第一宅建設計(株)

委 員 会

総務委員会

役職	氏名	所属
担当副会長	川幡 宏一	(株)総合開発設計
委員長	相良 敬治	(株)さがら設計事務所
副委員長	田所 裕司	(株)アクティ建築設計
〃	西村 元	(株)西村建築設計事務所
委員	三ツ江元治	一級建築士事務所(株)三ツ江建築測量事務所
〃	菊地 峰生	(株)ヤマト建設設計事務所
〃	池本 裕治	空間工房シリウス(有)
〃	國枝 千秋	國枝千秋建築設計事務所
〃	塩川 顕児	塩川建設(株)

業務・技術委員会

役職	氏名	所属
担当副会長	重綱 博美	(株)Fan 建築設計
委員長	松田 真人	(株)都市設計研究所
副委員長	遠田 雅宏	(株)浅井建築設計事務所
委員	鈴木 吉嗣	(株)ビーゴーイング
〃	森 昭	阿部建設(株)
〃	亀田 宏	亀田工業一級建築士事務所
〃	柳 雅人	柳雅人建築設計工房
〃	眞壁 喜男	くりえいと創
〃	中川 勝一	(株)エヌ・ケー建築設計室

(設計競技専門委員会)

役職	氏名	所属
委員長	澤田 貞和	(株)日本工房
委員	小西 彦仁	ヒココニシアーキテクチュア(株)
〃	森 昭	阿部建設(株)

(建築物耐震診断等評価委員会)

役職名	氏名	所属
委員長	石山 祐二	北海道大学名誉教授
副委員長	遠藤 淳治	(株)一寸房 技術顧問
〃	小田 信一	(一社)日本建築構造技術者協会
〃	後藤 隆之	(一社)日本建築構造技術者協会 北海道支部顧問
委員	荒井 一博	魁建築設計事務所 代表
〃	五百蔵健行	五百蔵構造設計 代表
〃	内山 晴夫	(株)久米設計 顧問
〃	木村伊佐子	(株)北海道日建設計 構造設計室 主管
〃	佐々木克也	エクシオグループ(株)北海道支店
〃	城 攻	北海道大学名誉教授
〃	武田 寛	北海道科学大学名誉教授
〃	福井 勉	鹿島建設(株)北海道支店 建築品質監理グループ専任職
〃	真柄 祥吾	北海学園大学名誉教授

広報委員会

役職	氏名	所属
担当副会長	三浦 啓	三浦建築設計事務所
委員長	藤原 昇悟	(株)中山設計事務所
副委員長	蒔田 淳一	(株)白樺設計
〃	宮房 晋矢	(有)ハース設計一級建築士事務所
委員	西島 弘志	(有)西島設計
〃	徳留 裕敏	(有) Rize international
〃	山田 利彦	(株)ひのき
〃	佐藤 徳文	(有)さとう建築デザイン室
〃	高橋 成造	高橋建築設計事務所

教育・情報委員会

役職	氏名	所属
担当副会長	能戸 彰	(株)小南建築設計事務所
委員長	中原 隆一	(株)札幌日総建
副委員長	中藪 則喜	(株)中藪建築工房
委員	小倉 治郎	(株)二葉設計事務所
〃	佐藤 裕	エスワークス建築設計事務所
〃	中原 茂人	(株)渡辺建築設計 苫小牧本社
〃	松本 孝幸	(株)松本建設
〃	小沢 昌博	(株)小澤建設
〃	栞原 一夫	(有)栞原測量設計事務所

指導委員会

役職	氏名	所属
委員長	奈良 顕子	(有)奈良建築環境設計室
副委員長	河村 和義	(株)アトリエK
委員	馬場 雄司	(株)ビープラン
〃	中岡 正憲	(株)アトリエブク
〃	山本 明恵	恵和建築設計事務所

(建築相談調査委員会)

役職名	氏名	所属
委員長	柳館 直人	(株)ドーコン
道ブロック委員	中田 信広	(株)中田建築設計
道ブロック委員	能戸 彰	(株)小南建築設計事務所
道ブロック委員	重網 博美	(株)Fan 建築設計
オホーツクブロック委員	笹木 勇一	(株)清和設計事務所
道ブロック委員	三浦 啓	三浦建築設計事務所

倫理委員会

構成委員は5名とし、会長が指名する副会長3名、当該地域の支部長1名、弁護士等の外部委員1名とする。

I T 委員会

役職名	氏名	所属
担当副会長	中田 信広	(株)中田建築設計
委員長	三栖 博	(株)アトリエブク
副委員長	澤田 貞和	(株)日本工房
委員	田所 裕司	(株)アクティ建築設計
〃	石丸 修二	(株)北海道日建設計

青年委員会

役職名	氏名	所属
担当副会長	笹木 勇一	(株)清和設計事務所
委員長	久保田克己	(株)北海道日建設計
副委員長	岡田 幸生	(株)岡田設計
委員	梅原 博大	伊藤組土建(株)一級建築士事務所
〃	金田 貴彦	(株)金田設計
〃	深瀬 正人	須藤建設(株) SUDO 設計
〃	齋藤 弘源	H.S.A
〃	石井 孝行	(株)武田建築設計事務所
〃	安原 英司	安原建築設計

社会医療法人 博友会 平岸病院増築工事..... 68



設計
監理 榎古田設計事務所

施工 榎田中組・山森建設特定建設企業体

社会医療法人恵佑会札幌病院..... 69



設計
監理 伊藤組土建(株)一級建築士事務所

施工 伊藤組土建株式会社

北央信用組合苫小牧支店..... 70



設計
監理 株式会社 田中組 1 級建築士事務所

施工 株式会社 田中組

CASA L/S/V TOWER..... 71



設計
監理 AURA ARCHITECTS 株式会社

施工 株式会社エフリード

学校法人西野学園 西野桜幼稚園..... 72



設計
監理 株式会社 ボンアーキテクト

施工 株式会社 ピーエス三菱

ウェルネット札幌本社オフィス..... 73



設計
監理 株式会社北海道日建設計

施工 清水建設株式会社

アイヌ文化を発信する空間 minapa..... 74



設計
監理 北海道日建設計

施工 乃村工藝社北海道支店

神恵内村役場庁舎..... 75



設計
監理 (株)ドーコン

施工 草別・白戸・拓成特定建設工事共同企業体

倶知安町役場..... 76



設計
監理 株式会社大建設計

施工 瀬尾・岩田地崎・横関・白木特定建設共同企業体

砂川市役所庁舎..... 77



設計
監理 株式会社大建設計

施工 岩田地崎・林工務店・水島特定建設工事共同企業体

社会医療法人 博友会 平岸病院増築工事

発注者 社会医療法人 博友会 平岸病院 理事長 谷 博
設計監理 (株)古田設計事務所 代表取締役社長 遠藤 重紀
施工 (株)田中組・山森建設特定建設企業体



外 観



内 観
1階 外来ホールで余裕を持ったオープンなスペース



内 観
5階 視聴覚室 地域開放で利用が出来る様に音響設備が整っています。

《設計概要》

面積 延べ 8,051.84㎡
構造 RC造・地上5階
外観仕上 コンクリート打放の上、吹付塗装(一部石目調塗装)
工 費 2.43千万
工 期 平成30年4月～令和2年10月
建設地 赤平市平岸仲町2丁目3番1、新光町2丁目1番
設備業者 田中組・山森建設特定建設企業体

《設計主旨》

本増築計画は、耐震基準に伴う耐震改修が主な目的からスタートしています。既存病院敷地と今回計画敷地が市道を跨いだ計画になり、都計法44条申請を行い、新規渡り廊下を設け既存棟と増築棟の連絡動線を設けた計画です。当病院は精神内科を主とする病院で、精神内科・内科・歯科と診療科目を持ちます。本計画は既存病床数330床の一部164床を増築棟1～4階(内科・精神軽度・精神重度病室)、薬局、外来部門、5階にコミュニティ部門(地域開放可能なホールスペース)、病院全体の給食サービス担う厨房棟が主な増築概要です。クライアントの要望で冬期の雪対策を考慮した計画としています。

その他冷暖房の熱源の改善変更も行われています。

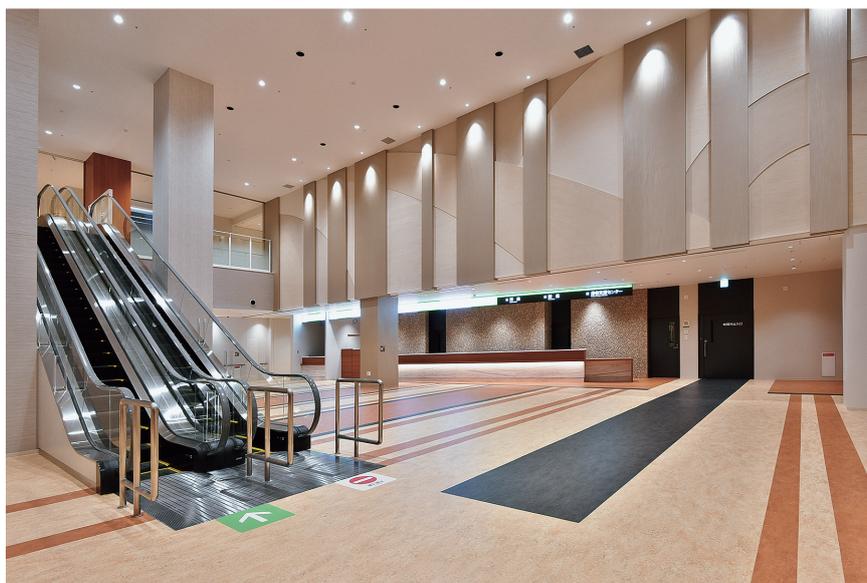
設計担当：遠藤重紀

社会医療法人恵佑会札幌病院

発注者 社会医療法人恵佑会
設計監理 伊藤組土建(株)一級建築士事務所
施工 伊藤組土建株式会社



外観（夜景）



総合待合



総合案内・ホスピタルストリート



特特室

《設計概要》

面積 延べ 29,006.27 m²
構造 S造一部RC造・地上7階・塔屋1階
外観仕上 ECPの上水性無機高分子系塗装 一部デザイン
パネル貼
工期 2019年4月～2021年7月
建設地 札幌市白石区本通9丁目南15他

《設計主旨》

社会医療法人恵佑会札幌病院は、長年がん治療における先導的な役割を果たし、特に消化器系手術件数等では全国でもトップを競う実績を誇る病院であることから、日本のがん治療のフラッグシップとなる新しいがんセンターを目指してをキャッチコピーとして新病院のイメージを共有した。

集学的がん治療や合併症等の周辺疾病に対しても最先端の

治療が行え、患者や家族には「ここで診て貰いたい」という信頼を与え、全ての病院スタッフが笑顔で「ここで働きたい」という誇りがもて、更に今後も激変が想定される医療施策にも柔軟に対応できる「新しいがんセンター」を目指した。

運用の効率性、機能的な部門配置、短い動線を追求し、集約的階構成となるインテグレートホスピタルとした。

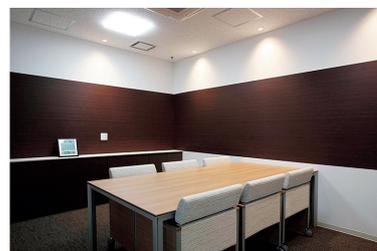
1、2階の外來部門ではホスピタルストリート・ループストリートを設け、これに沿って各外來のブロック受付を配置した。単純な動線、受付やインテリアのデザインにより、患者を自然に誘導し、わかりやすく不安を与えない計画とした。

また、講堂や食堂ラウンジ、男女休憩室、保育園の整備などスタッフエリアを充実させ、スタッフにとっても魅力ある施設を追求した。

設計担当：伊豆倉真 高松 圭 梅原博大 開 歩

北央信用組合苫小牧支店

発注者 北央信用組合
設計監理 株式会社 田中組 1級建築士事務所
施工 株式会社 田中組



《設計概要》

面積 327.10 m²
構造 S造
外観仕上 磁器質タイル他
工期 平成 28年 3月～平成 28年 11月
建設地 北海道苫小牧市

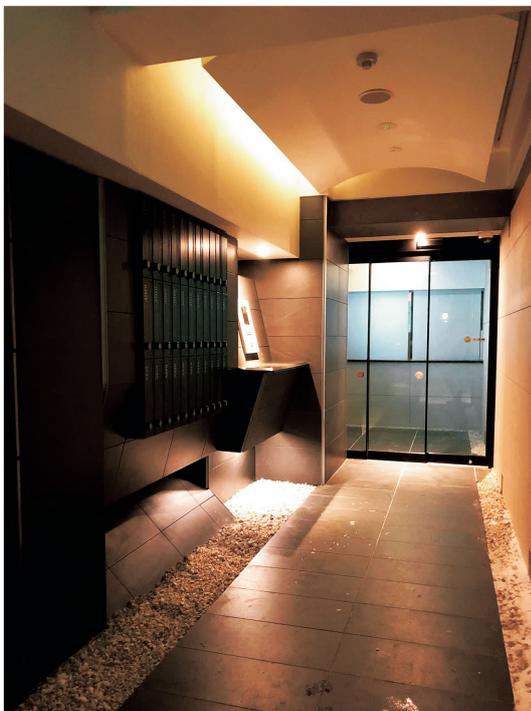
《設計主旨》

本建物は、旧店舗の建替及び市内の他店舗と統合し、市内の主要店舗として新築した。

外観には道産材の木製カーテンウォールを使用し、正面ファサードの視認性を高めつつ、待合室・業務室を吹抜空間・13m スパン無柱の空間として設計した。また、外部からも見通しが利くよう店内の奥行きは広くせず、銀行業務の閉鎖感を緩和させ地域の人が入りやすいオープンなイメージを目指した。
設計担当：相馬淳志、浅野祐太

CASA L/S/V TOWER

発注者 エスポワール不動産株式会社
設計監理 AURA ARCHITECTS 株式会社
施工 株式会社エフリード



《設計概要》

面積 延べ 1,740.05 m²
構造 RC造・地上12階
外観仕上 コンクリート打放の上、撥水材塗布 一部タイル貼り
工期 2019年11月～2021年1月
建設地 札幌市豊平区

《設計主旨》

本物件は北海道においてマンションに関して25年以上、実践してきたノウハウに磨きをかけ、年較差ある札幌で設計し、高層ZEH-Mとしては日本初となった賃貸マンションです。公的省エネ性能のBELS五つ星を確保。コストパフォーマンスを高め、オーナーにとって事業収益の健全性が高まりイニ

シャル&ランニングトータルコストで合理的に低減できるよう計画なされています。一方で入居者には地球環境にやさしく温度ムラがより少なく健康で経済的で無暖房期間が多くなる様になっています。また、居住しながら2030年以降は更なる超省エネ外断熱改修も可能にして持続向上可能な建築になる計画として、このZEH-Mモデル「Simple-X ZEH-M」を位置づけて実現させました。

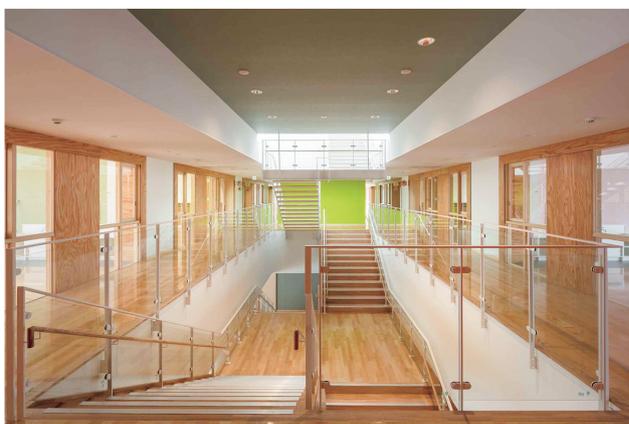
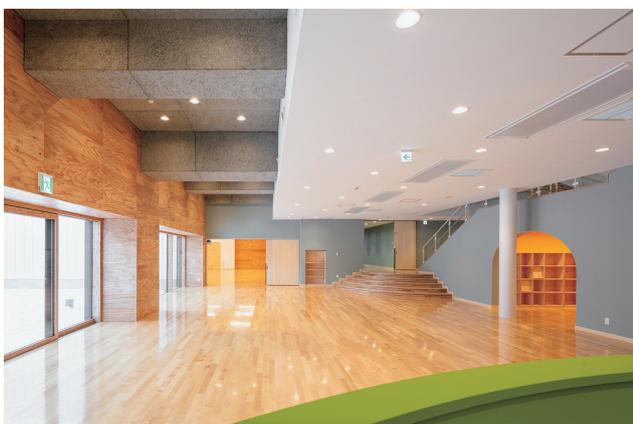
竣工後は各住戸エネルギー利用をモニタリングしマンション管理でLCEMに則し省エネアドバイスが可能です。

外皮平均熱貫流率(UA値)に関しては0.34。2019年度の環境省認定の高層ZEH-Mとしては同クラスの全国初の分譲マンション含めた中で、統計結果から日本一の外皮断熱性能を確保できたデザイナーズ・マンションです。

設計担当・山本謙一、増田 渉

学校法人西野学園 西野桜幼稚園

発注者 学校法人西野学園
設計監理 株式会社 ボンアーキテクト
施工 株式会社 ピーエス三菱



《設計概要》

面積 延べ 2,091.32 m²
構造 RC造・地上2階
外観仕上 EPS湿式外断熱システム、ガルバリウム鋼板
工期 令和2年4月～12月
建設地 札幌市西区西野4条6丁目11-15
設備業者 機械設備工事 ダイダン株式会社
電気設備工事 サンエス電気通信株式会社

《設計主旨》

56年の歴史がある幼稚園の建て替えである。背中合わせのX階段を中心に明るく開放的で省エネルギー且つ快適な

幼稚園を目指し、凹凸の少ない建物を外断熱で包み、跳ね出し屋根やバルコニーは耐荷重性のある構造熱橋防止システムで熱橋抑制している。窓は $U_w=0.82\sim 0.93\text{ W/m}^2\text{K}$ の木製サッシを採用した。

1階は広場となるホール、4mの大開口で園庭と繋がる遊戯室、多目的室、職員室、水回りゾーンを配置。2階は12クラスの保育室を南東、北西の両端に配置。中心に廊下、階段、水回りゾーンを平行配列した。共有ゾーンには塔屋の窓から自然光が入り、X階段が開放的な雰囲気をつくっている。

空調計画は感染リスクの軽減を考慮して気流を感じない放射整流換気空調システムを採用している。

設計担当：森 徳彦

ウェルネット札幌本社オフィス

発注者 ウェルネット株式会社
設計監理 株式会社北海道日建設計
施工 清水建設株式会社



《設計概要》

面積 延べ 3,750.05 m²
構造 S造・地上3階
外観仕上 ガラススクリーン、アルミカットパネル、
コンクリート化粧打ち放し
工期 令和2年4月～令和3年6月
建設地 北海道札幌市中央区大通東10丁目

《設計主旨》

電子決済サービスを展開するIT企業ウェルネットが、イノベーション創出と優秀な人材確保を目的として、本社機能を東京から札幌に移転したウェルネスオフィス。ワークプレイス×コミュニケーションスペースを組み合わせたオフィスユニットは中央吹抜けを囲むように配置し、ステップフロアを介して動線や視線が交わることでシステムエンジニアの五感に訴え、新たな常識や価値を生み出すフィールドを創出した。設計担当：川東 隆、紀田 健志、阿久津 翼

アイヌ文化を発信する空間 minapa

発注者 札幌市
 設計監理 北海道日建設計
 施工 乃村工藝社北海道支店



天井面に力強く浮かび上がるアイヌ文様



アイヌ文様と木柱に囲まれた都市の憩い空間



歩行者の五感に訴えかける音と光のアート展示・シアター

《設計概要》

面積 延べ 317.6㎡
 構造 一造・地上一階・地下一階
 ※内装計画のため該当なし
 外観仕上 (内装仕上) 床：テラゾタイル
 壁：木製ルーバー、スチールパネル
 天井：アルミエキスパンドメタル
 工期 平成30年7月～平成31年2月
 建設地 札幌市中央区
 市営地下鉄南北線さっぽろ駅改札階コンコース内

《設計主旨》

札幌の玄関口・交通拠点である地下鉄さっぽろ駅のコンコースを行き交う市民や観光客を対象に、アイヌ文化の魅力発信と、市内・道内のアイヌ関連施設の情報発信を目的とする、長さ約40mの公共空間である。

駅を通過していく利用者の特性をふまえ、天井面の巨大なアイヌ文様と、木文化をモチーフとした装飾を列柱に施し、通り抜けるわずかな時間でアイヌ文化を強く印象づける設えとした。トーンを抑えた色彩と照明計画により周囲とのコントラストを強めた空間には、アイヌアート展示、メインシアター、タッチパネル、テーブル型シアターや音響などを配置。都市の憩いの場としても利用される体感型文化空間「ストリート・ミュージアム」として、新たな文化発信の在り方を示した。

設計担当 菅原、岩村

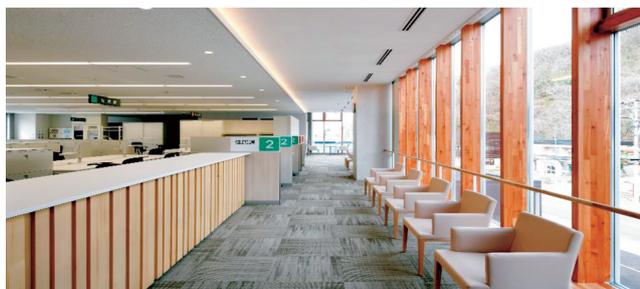
神恵内村役場庁舎

発注者 神 恵 内 村
設計監理 (株) ド ー コ ン
施 工 草別・白戸・拓成特定建設工事共同企業体



外観

2階の床レベルは津波浸水深よりも高いGL+6mで設定している。建物は津波による漂流物の衝突で外周部の柱が1本消失しても倒壊しない性能を有している。地盤の洗掘で建物が倒壊しないように杭基礎を採用した。



事務室・受付カウンター

後志産の木材を使ったカーテンウォール。天井の漆喰は地元ホタテの貝殻を使用した。



エントランスホール

バス待合やキッズスペース、カウンターを整備し村民に開放

《設計概要》

面積 延べ1,879.02m²
構造 鉄骨造・地上4階・杭基礎
外観仕上 押出成形セメント板
工期 令和元年9月～令和3年3月
建設地 古宇郡神恵内村大字神恵内村 2185-3 他
施工 草別・白戸・拓成特定建設工事共同企業体

《設計主旨》

後志管内の神恵内村は、津波浸水想定区域内かつ土砂災害警戒区域内の住宅地を庁舎改築敷地に選定した。さらに高齢化が進む村民の避難所となることを最優先して、泊原発からの放射線被ばくの防護対策も必要であった。

村の望む庁舎のあり方は災害から守られつつも、村民に親しまれる開かれた庁舎であったため、シェルターではない津

波避難の庁舎にしたいと考えた。

そこで建物は鉄骨造による大スパン架構とし、外壁を乾式にすることで津波によって外壁が流出する計画とすることで構造体に作用する波圧を少なくする、津波を“いなす”考え方により浸水階が開放的な津波対応の建築を提案した。

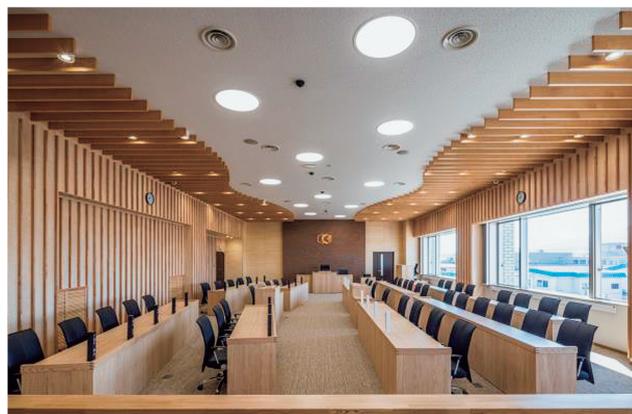
津波の浸水階となる1階をホールとしてバス待合所やキッズスペースを併設した村民開放の場とし、2階より上の津波浸水深と津波基準水位よりも高い位置に執務室や災害対策本部、非常用発電機や放射線防護フィルター等のBCP対応機器を設置し災害時には災害対策本部及び村民の一時避難所として機能維持する庁舎とした。

平時から多くの人に利用してもらうことが災害時の避難円滑化や地域防災につながると考えた。

設計担当 意匠：古池章規 構造：佐藤光
電気設備：伊藤傑 機械設備：向山和晃

倶知安町役場

発注者 倶知安町
設計監理 株式会社 大建設計
施工 瀬尾・岩田地崎・横関・白木特定建設共同企業体



《設計概要》

面積 延べ 4,428.61㎡
構造 RC造・地上3階
外観仕上 レンガ
工期 令和元年5月～令和3年10月
建設地 北海道虻田郡倶知安町北1条東3丁目3-1他
設備業者 池田・倶知安機工・リビング梅田・本田特定建設共同企業体
内山・末永・松井特定建設共同企業体

《設計主旨》

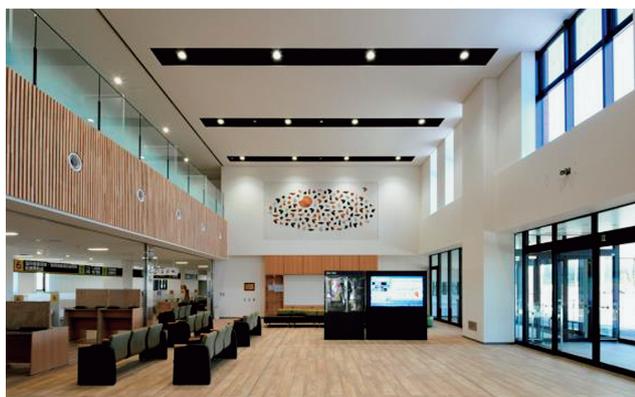
現役場庁舎が築50年以上経過し、老朽化や耐震性に課題を残す中、国による「市町村役場機能緊急保全事業」が創設されたことをきっかけに建替が決定した。構成としては、1

階に町民窓口業務の多い課を集約配置し、2階には災害時に災害対策本部となる大会議室、執務室、3階には議会機能を配置している。また、計画地は「羊蹄山」「ニセコ連峰」をパノラマ状に見渡せる位置にあることから、南・西に面する部分に大きなガラス面を設けることで、常に雄大な山々を感じることができるとともに、外壁に白レンガ積を採用し雪の中に窓から漏れ出る光と共に白く佇む建築物とした。さらに、外断熱工法、Low-E断熱サッシ、床下吹出しの局所空調、クールヒートピット、LED照明を導入し環境配慮とランニングコストの低減に寄与している。メインエントランス上部には9.5m×28mの大庇を設置し、車いす駐車場利用者と共に、降雨降雪時の来庁者に配慮した。

設計担当：安念雅之

砂川市役所庁舎

発注者 砂川市
設計監理 株式会社大建設計
施工 岩田地崎・林工務店・水島特定建設工事共同企業体



《設計概要》

面積 延べ 5,932.15㎡
構造 S造・地上4階・地下1階
外観仕上 磁器質タイル
工期 令和元年8月～令和3年3月
建設地 北海道砂川市西7条北3丁目1-1他
設備業者 日比谷・村田・オーハシ特定建設共同企業体
五建・東洋特定建設共同企業体
増井・平尾特定建設工事共同企業体

《設計主旨》

北海道中空知地区に位置する砂川市の市庁舎建替事業である。敷地は市民の利便性、まちづくりとの整合性、計画の経済性など様々な視点から検討し、市民意向、庁舎建設検討審

議会の意見を経て、現庁舎の隣接敷地が選定された。新庁舎は東西軸を基本とし、隣接する公民館・図書館と行き来しやすいアプローチ計画を行った。S造の採用により見通しのよい大空間を実現するとともに、将来の組織改編にも対応しやすいつくりとしている。1階には情報発信・フリー（交流）スペースを配置し、臨時事務やイベントなど多目的に利用できる空間とした。また、近くを流れる石狩川の洪水時には、浸水程度に応じて最低限の機能を維持しつつ、浸水後には早期復旧可能な災害に強い庁舎としている。空調熱源に地中熱を利用するなど一次エネルギー消費量を30～40%削減し、光熱水費の圧縮及び運用時のエネルギーの見える化によって、環境配慮型官庁施設を実現する。

設計担当：藤原益三

設計から製造・施工まで製販一体の取組み、
北海道を地場とした44年の実績でお応えします。



「信頼を築く」

 **株式会社 タカフジ**

営業内容 ●金属製建具工事 ●硝子工事 ●イスターカーテン工事

本社・工場

札幌市白石区米里1条3丁目6番8号

〒003-0871 電話代表 (011) 871-0666

FAX (011) 871-0519

E-mail: info@takafujinet.jp

HP: <http://www.takafujinet.jp/>

釧路営業所

釧路市新栄町13番18号

〒085-0032 電話 (0154) 68-4351

FAX (0154) 68-4352

西原のこころ

良心的で行き届いた
仕事をする

給排水衛生・冷暖房・消火設備

 **株式会社 西原衛生工業所** 札幌支店
N I S H I H A R A

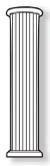
支店長 鈴木 且洋

〒060-0035 札幌市中央区北5条東2丁目1番地 AFTビル新館
<http://www.nishihara-eng.co.jp/> ☎011-261-3381

夢のある暮らしと社会をクリエート



株式会社 アルファ造形



関西村建築設計事務所様



FRP装飾物 お城風

認定こども園ミナクル幼稚園
ピッコリーノ保育園
百合が原幼稚園
パンピーノこども園
手稲おおぞら幼稚園

清水建設様



大通り西4ビル1F GRGドーム

3200mm×3500mm
楕円形ドーム

定山溪観光協会様



定山溪温泉サイン

高さ4500mm×幅2000mm
FRP擬木

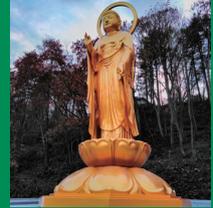
関竹中工務店様



温泉宿大浴場

白木風 FRP梁
太さ 450mm×300mm

南区石山 佛願寺様



阿弥陀如来立像

高さ7.5m

● 会社情報 ●

〒001-0915 札幌市北区新琴似 1031 番地 131

TEL 011-765-5306 FAX 011-765-5308

○メールアドレス alphazok@alpha.ocn.ne.jp

○ホームページ <http://www.alphazokei.com>

● 製作品目 ●

- 立体像・レリーフ・モニュメント・オブジェ
- 建設物内外の装飾物
- 広告サイン造形物・模型・複製
- 擬岩【山系・水系】
- 擬木【各種樹皮丸太・古材風・白木風】
- 各種水槽

● 製品材質 ●

- FRP(ガラス繊維強化プラスチック)
- GRC(ガラス繊維強化モルタル)
- GRG(ガラス繊維強化石膏)
- ブロンズ

くらしの安全を支える基礎に。

ビル、住宅、橋梁など、建築物や道路構造物にしっかりと基礎工事は非常に重要です。
さらに昨今は、地震などの不慮の災害に強いまちづくりが急務。
弊社は住宅基礎から耐震補強、地盤、地質調査に至るまで、基礎工事のスペシャリスト企業です。
経験豊富な営業マンが自慢のネットワークで北海道全域をカバー致します。

私たちにお任せください！



クローバーシステム株式会社

CLOVER SYSTEM CORP.

地盤・地質調査／基礎工事

札幌事務所

〒065-0022 札幌市東区北22条東2丁目1番20号 ヴィラ・ポレール1F

TEL : 011-741-2687 FAX : 011-741-5073

旭川営業所

〒070-0032 旭川市2条通2丁目54-1 中根ビル2F

TEL : 0166-23-9680 FAX : 0166-23-9681

mail : eigyo@clover-sys.co.jp





コンセプトショールーム兼湿度センター

PS マダガスカル

一年を通じて亜熱帯性植物が生き活きとした姿を見せる「PSマダガスカル」
こんなに窓が多い空間ですが、冬でもあたたかく潤いがあります。
PS HRヒータからの穏やかな放熱は繊細な植物にもストレスがなく、窓の結露を防ぎます。
潤いをつくる加湿器は、緑を元気にし健康的な環境をつくれます。
昨今人が活動する空間では、感染症対策としての加湿が益々重要となっています。
PSマダガスカルの室内気候を是非ご体感ください。

*事前予約制です。右記のQRコードを読み取り、予約フォームからお申込ください。



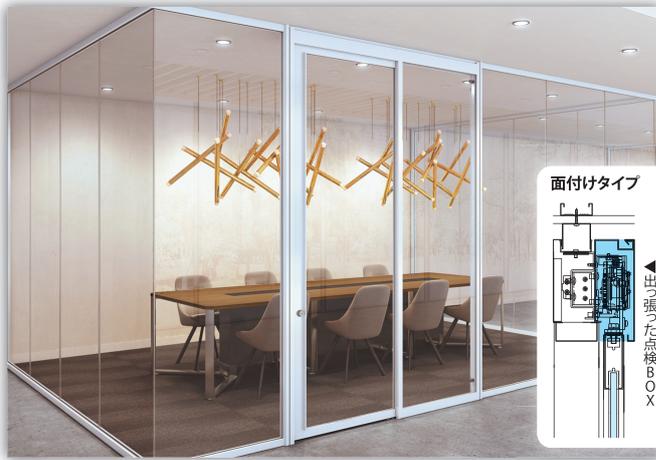
温度と湿度の専門企業

ピーエス株式会社 北海道支店 〒061-1112 北広島市共栄41-3 tel.011-372-7605

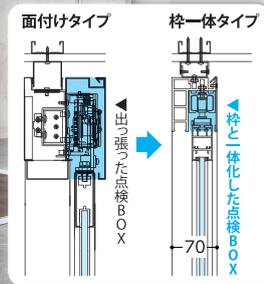
放射型ラジエータ PS HRヒータ 放射型電気ヒータ PS HR(E) 除湿型放射冷暖房システム PS HR-C
 産業用加湿器 | 蒸気式・細霧式・気化式 産業用除湿機 空調関連機器



三和の商品ラインアップ



スライドクール



細框&コンパクトな上廻りで
スタイリッシュな引き戸パネルです。
バリエーション豊富な
ガラスパーテーションとの連装で
様々な空間をデザインします。

スガードPS

遮煙防火設備タイプ

縦穴区画や異種用途区画、また、CAS認定を
取得しているため、エレベーターホールの
防火区画へも対応できます。
フラッシュ扉では特定防火設備、アミ入窓付では
防火設備へも対応できます。



ウォーターガード 防水シャッター 防火・防煙タイプ

防水シャッターと
防火・防煙タイプの機能が1つに。
浸水高さ3mまで対応します。

三和シャッター工業株式会社 北海道事業部 011-233-3011

美しく住みよい環境を創造る、溶融亜鉛めっき

HOT DIP GALVANIZING

日本産業規格表示認証取得工場 (TC 01 07 087)



日本鍍金工業株式会社

めっき槽 L13,000×W2,100×D2,700

代表取締役社長 **藤岡 義尚**

〒063-0833

札幌市西区発寒 13 条 13 丁目 2 番 1 号

TEL 011-661-2368 FAX 011-665-6006

WEB <http://www.nihonmekki.co.jp/>

E-mail info@nihonmekki.co.jp

スポーツ・フロアのパイオニアとして
安全で快適な床を提供しています。



北海道立総合体育館センター きたえーる

- 鋼製床下地材
「ジム・エース」
- 体育館用衝撃吸収壁
「ジム・ウォールシステム」
- 複合プール用可動床
「アクティブフロア」
「ステンレス製プール」
- 建築用鋼製下地材 (壁・天井)
- 内装工事



株式会社

代表取締役

染野製作所

染野真一

本社・工場 茨城県牛久市猪市町 648

TEL:029-872-3151 FAX:029-873-3330

札幌営業所 札幌市白石区菊水 1 条 1 丁目

TEL:011-813-8670 FAX:011-813-8671

URL <http://www.someno.co.jp>

豊かな技術で 未来を創造する



三谷セキサン株式会社

福井本社 / 福井市豊島1丁目3番1号

TEL(0776)20-3333(代)

札幌支店 / 札幌市中央区南1条東1-3(パークイースト札幌8F) TEL(011)206-7771(代)

<http://www.m-sekisan.co.jp/>



株式会社イーエス・テクノ工業

確かな技術で
快適空間を創造します

特殊内外意匠工事

断熱結露防止工事

塗り床工事



防水・シーリング工事

リニューアル工事

石綿処理工事
ダイオキシン処理工事

建築・資材・販売

創業
経営
必要

常に創業時の意識を忘れない。
常に経営者意識を持つ。
常に世間から信頼され
必要とされる仕事により継続を計る。

会社概要

会社名	株式会社イーエス・テクノ工業
所在地	〒007-0850 札幌市東区北50条東7丁目4番地13号 電話(011)711-7181 FAX(011)711-7225 ホームページ: http://www.es-techno.jp E-mail: es-techno@mx35.tiki.ne.jp

様々なシーンに確実に応える、東翔の地盤改良工法

www.tousho-jp.com

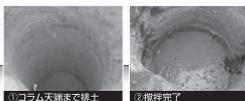
S-Maxコラム工法

垂直反復攪拌 深層混合処理工法 GBRC第12-27号

2014年6月 性能証明追加取得 $\phi 1,300$ まで施工可能に!

上下攪拌による均一な
高強度の改良コラムを築造

- 1 TSヘッドの使用により垂直攪拌性能大幅アップ
- 2 改良体の可視施工による確実な改良施工
- 3 全長垂直攪拌により改良体強度の均質施工
- 4 TSヘッドによる改良不適土の排除及び良質土への置換施工
- 5 未固結改良体の品質管理に電気比抵抗試験を導入



独自開発せん断スパイラルヘッド(TSヘッド)

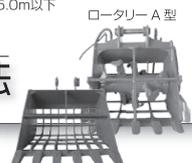


ブロック状改良で施工費の縮減

- 1 ブロック状に改良するので施工効率がアップ
- 2 支持層改良土質が目視確認でき、確実な施工が可能
- 3 ライジングテスターによる確かな品質管理
- 4 改良体寸法0.7m以上~5.0m以下

ブロック状混合処理工法 ライジングW工法

スケルトンA型



TOUSHO



株式会社 東 翔

札幌本社

〒007-0828 札幌市東区東雁来8条2丁目1番45号
TEL.011-790-5858 FAX.011-790-5392

函館営業所

〒040-0076 函館市浅野町4番8号
TEL.0138-42-0077 FAX.0138-42-0028

仙台営業所

〒981-1108 宮城県仙台市太白区柳生2丁目5番1号
TEL.022-797-9530 FAX.022-797-9531



老後を、もっと豊かなものにするために。

創業以来、150年以上もの間、人を見つめ、
いつの時代も未来への安心を届けてきたメットライフが、
老後を考えるあなたのお手伝いをします。

いつまでも、元気で長生きできるように。
どんな未来も、お金の心配をせずに暮らせるように。
私たちの強みを活かしながら、健康と経済的なサポートを行っていきます。

老後を考えることを、もっとワクワクできることにしよう。
老後を自由で、次の世代が憧れるものにしよう。
私たちは、これからもこれまで以上に、
お客さまに寄り添い、日本の老後を変える挑戦をしてゆきます。

#老後を変える

 **MetLife**
メットライフ生命
いい明日へ、ともに進んでゆく。

東陽上村アドバンス株式会社は コンクリート製品の総合サプライヤーです



T.U.A 東陽上村アドバンス株式会社

本社 〒003-0802 札幌市白石区菊水 2 条 3 丁目 1 番 34 号
長沼工場 〒069-1347 夕張郡長沼町北町 4 丁目 1 番 18 番
江別工場 〒067-0022 江別市江別太 338 番地
米里ヤード 〒003-0876 札幌市白石区東米里 2047 番地 98
西ヤード 〒001-0930 札幌市北区新川 730 番地 23

TEL(本社代表) : 011-821-1404

東陽上村アドバンス

検索



@TUAdvance_PC



当社はコンクリート製品の設計・製造・販売を一貫して行っております。
そのため、お客様の様々なご要望に合わせた製品を製造可能です。また、お客様の「困った」を解決するオリジナル製品をご用意しております。



屋根に夢と技術をのせて

屋根に求められる性能を全て実現!

カラーが選べる フラットな意匠の天井化粧材



- 横葺き屋根
- 縦葺き屋根
- 平滑葺き屋根

• 元旦システム排煙棟

• 折板屋根

- シャープな軒先
- 元旦内樋 (大型建築用)



母屋兼用 吸音断熱直天井システム

PASTEM-Z[®] PAT

さらにオプションを追加
機能が充実!

トップライト

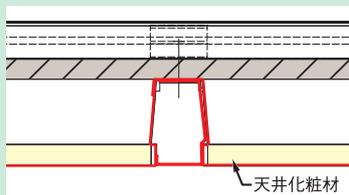
点検口

ソーラーパネル

雨とい

排煙棟

天井化粧材が
母屋を兼ねる



天井化粧材

屋根上から天井まで
仕上げる



建物用途に合わせて
選べる仕様

高断熱仕様

吸音性能

遮音性能

製造
発売元 **元旦ビューティ工業株式会社**
本社 / 〒252-0804 神奈川県藤沢市湘南台1-1-21 TEL.0466-45-8771 FAX.0466-45-3031
北海道営業所 / 〒065-0030 北海道札幌市東区北三十条東16-3-21 TEL.011-792-6611 FAX.011-792-6600

フリーダイヤル マルク ヨク サンネコ
0120-09-49-39
<https://www.gantan.co.jp>



全国元旦会
信頼・安心・確かな技術で責任施工
全国約8000人の施工ネットワーク

細菌の代謝でひび割れを自動修復する賢い素材

自己治癒コンクリート

Basilisk

self healing concrete



LESS CEMENT.
SAME STRENGTH.



液化CO₂でナノ結晶を生成し
セメント使用量を減らす

低炭素コンクリート



CARBONCURE™



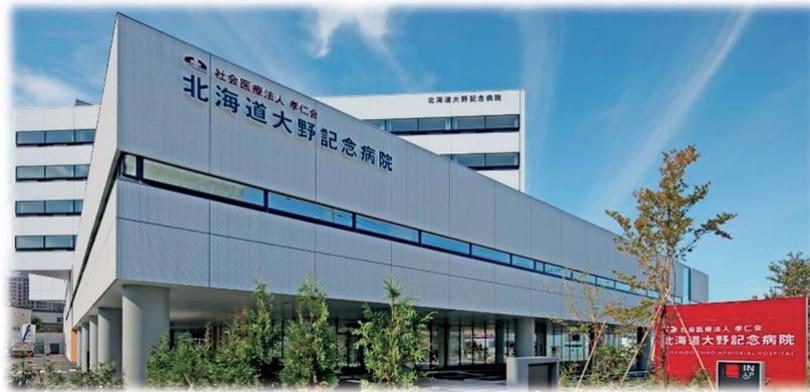
廃プラの電子改質で
リサイクルと脱炭素化を同時に追う



改質廃プラ固定化コンクリート

スマート材料で駆け抜けろ！脱炭素化という名のゴールへ
Decarbonization 1st

AIZAWA



優れた技術・誠意で築く



株式会社 田中組

Tanaka Gumi Co., Ltd.

〒060-0006

札幌市中央区北6条西17丁目17番地の5

電話（代表）011-611-3331

支店・営業所・出張所／旭川、東京、函館、道東、苫小牧、帯広

URL <http://www.tanakagumi.co.jp/>

「消費者保護」を形にすれば・・・

建築士事務所のリスクマネジメント

2022年度 新規加入受付中

中途加入は、毎月25日までの加入手続きで
翌月1日より補償開始

日事連・建築士事務所 賠償責任保険

〈建築家賠償責任保険〉

建賠保険は
建築士事務所を賠償事故から
お守りする保険です。

新・特約

今年度よりスタート

損害拡大防止補償

建物の「かし」が発覚し、滅失・破損が発生する前に対策を講じた際の修補費用を補償します。

事故例 店舗と物理的に一体となっている看板の荷重計算を誤り、強度不足が判明した。将来的に荷重に耐えられず落下の可能性があります、修補を行った。



さらに オプションプランで充実した安心をご提供

会員限定

- 1 構造設計業務ミスによる「構造基準未達」時の賠償事故を補償
- 2 建築基準法等における「法令基準未達」時の賠償事故を補償
- 3 建物調査業務(耐震診断等)中の賠償事故を補償
- 4 ITユーザー行為*(含テレワーク)に起因するサイバーリスクを補償

*ソフトウェア開発等、他人に使用させる目的で行うIT業務は対象外となります。

※別途特約保険料が必要



弁護士相談 **無料** サービス 会員限定

施主とのトラブルや従業員とのトラブル・・・
建築士事務所のお悩み解決をサポートします!

日事連サービス



日事連・建築士事務所賠償責任保険 取扱指定代理店

有限会社 日事連サービス

TEL.03-3551-6633(建賠保険専用ダイヤル)

〈幹事引受保険会社:東京海上日動火災保険株式会社〉

この広告は「日事連・建築士事務所賠償責任保険(建築家賠償責任保険・請負業者賠償責任保険・サイバーリスク保険)」の概要についてご紹介したものです。保険の内容は日事連・建築士事務所賠償責任保険パンフレットをご覧ください。詳細はパンフレットに記載の保険約款によりますが、ご不明点がありましたら日事連サービスにおたずねください。

21-T04207 2021年12月作成

編集後記

新型コロナウイルスが流行しだし2年経ちますが、未だに“新型”と呼ばれている事に少し疑問を持ちます。今、少し落ち着いてきているようですが、第何波まで起こるか予測できず早く終息を向かえてほしいものです。

このコロナウイルス騒動がきっかけの一つに過ぎないと思いますが、リモートで会議や在宅勤務も一気に普及し、企業が都心から地方に本社移転の事例も出ております。また地球温暖化の問題でも世界では50度を超す地域があり、ここ北海道において体温を超える様な猛暑日が記録されエアコンが必須になってきました。米の産地が北上してきたり、マンボウやブリなど暖かい海を好む魚が近年北海道でも見られるようになり、異常気象が世界中で起きています。

ここ数年で、社会の仕組みが変わろうとしている時期だと感じています。世界ではガソリン車廃止の流れも進むでしょう。技術が進歩し、この雪国でも問題なく走れるようになることも近い将来くるかもしれません。私たち建築設計事務所としても、“建築物の省エネ対策”の分野において、低燃費な建築物をつくり、または低燃費に改修するなどして社会貢献できるように率先して取り組んでいきたいと思っています。

温暖化によりいい事も悪い事も両面あるかもしれませんが、持続可能な社会になることを願っています。

(広報委員会委員 徳留裕敏)

一般社団法人 北海道建築士事務所協会 ひろば No.94 / ARC 2021 No.53 建築作品集

発行 令和3年12月

発行人 専務理事・事務局長 中川 國義

編集人 広報委員会

担当副会長 三浦 啓

委員長 藤原 昇悟

副委員長 蒔田 淳一 宮房 晋矢

委員 西島 弘志 徳留 裕敏

山田 利彦 佐藤 徳文

高橋 成造

事務局 佐藤ひとみ

発行所 一般社団法人北海道建築士事務所協会

会長 庄司 雅美

〒060-0042

札幌市中央区大通西5丁目11番地

大五ビル6F

TEL : 011-231-3165

FAX : 011-241-1517

HP <http://www.do-kjk.or.jp>

E-mail hokkaido@do-kjk.or.jp

データ製作 株式会社アイワード

夕張市拠点複合施設「りすた」

夕張市は、安心して幸せに暮らし続けることができる持続可能な地域社会の構築を目指し、集約型コンパクトシティの形成によるまちづくりを進めており、その中核を担う施設として拠点複合施設「りすた」は誕生しました。

財政破綻という困難を経験し、行政主導から市民主体のまちづくりへと転換を図ってきたなかで、施設構想の策定においても地元高校生をはじめ多くの市民が参画し、延べ5年にわたる議論を重ね「夕張再生の象徴」となる施設として市民の想いが形となったものと思っております。

市民活動や子育て支援、図書や行政など多様な機能を有するこの「りすた」は、施設のコネプトである「笑顔とにぎわいがこだまする街」の実現に向け、夕張の未来に光を照らし、市民の交流や活動が輝き愛される施設としてあり続けます。



一般社団法人 北海道建築士事務所協会

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目 大五ビル6F TEL:011-231-3165 FAX:011-241-1517
<http://www.do-kjk.or.jp> E-mail:hokkaido@do-kjk.or.jp